九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[2015/2016]九州大学附属図書館年報

https://hdl.handle.net/2324/1810685

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2015/2016, pp.1-, 2016-06. 九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

ISSN1881-7017

KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2015/2016

九州大学附属図書館年報 2015/2016

CONTENTS もくじ

Topics ---- 3
展示会・講演会 ---- 7
国際化 ---- 10
講習会／Cute.Guides ---- 11
新規コレクション・電子化コンテンツ ---- 12
研究開発室 ---- 13
職員研修 ---- 14
統計 ---- 15
附属図書館の組織 ---- 21
人事異動 ---- 23
出版物／貴重資料の学外展示・掲載・放映 ---- 24
図書館日誌 ---- 25

附属図書館長
宮本　一夫

はじめに

27年度は、伊都図書館の改修工事が行われ、3階部分には書架・閲覧室の導入とともに新たに会議室・地図室、教材開発センタースタジオを設置しました。また、1階にはラーニングコモンズ、2階には国際交流ラウンジを設けました。17年度に開館した伊都図書館もようやく完成形を迎え、28年4月にグランドオープンしました。さらに、伊都キャンパスに建設中であった新中央図書館は、建物の3分の1にあたる1期工事が28年3月に完了しました。ここには、自動書庫やアクティブ・ラーニング・スペースが導入されるほか、附属図書館付設の教材開発センターが配置され、28年10月に運用を開始する予定です。一方、芸術工学図書館でもアクティブ・ラーニング・スペースを新たに設置し、他館にはないカジュアルで印象の異なる空間を提供しています。

図書館の活動として特筆すべきは、28年1月に「九州大学オープンアクセス方針」を決定したことです。オープンサイエンス推進が世界的な潮流となっている中、公的資金によって生み出された研究成果を「九州大学学術情報リポジトリ」によっていち早く公開し、学術研究や社会技術の発展へ貢献しようとするものです。今後はオープンアクセス方針の実施に向け、さらにオープンデータの推進のための体制作りを進める予定です。こうした中、『九州大学新聞（九州帝国大学新聞）』のデジタル画像を公開できたことも一つの成果でしょう。なお、25年から博士学位論文のオープンアクセス化が原則義務化されており、27年5月には九州大学コレクションの学位論文ブラウズ画面を公開しました。また、デジタルオブジェクト識別子（DOI）の登録を積極的に進め、世界的なアクセスの利便性に対応しようとしています。

図書館の教育支援活動としては、図書館学習サポーター（Cuter）の活動があげられますが、Cuterをティーチング・アシスタントとして位置づけ、図書館TA（Cuter）と改称しました。図書館の教育支援が学内の教育制度の中に正式に組み入れられたことを意味します。学内プログラム「教育の質向上支援プログラム（EEP）」では、「教育の国際化に対応した学習支援環境の構築ーアクティブ・ラーナー育成を推進する次世代の大学図書館をめざしてー」（27～29年度）が採択されました。大学図書館として図書館TAなどを活用して留学生や学生の教育支援を行うというものです。

教育支援として教材開発センターの活動もあげられます。基幹教育院などと連携し電子教材の製作や開発に取り組んでいます。JMOOC講座では「個人と組織のための最先端サイバーセキュリティ入門」など2講座を開設しました。また、教材製作の支援のために電子教材著作権講習会など様々な講習会を開催しました。

27年にはユネスコ世界遺産「明治日本の産業革命遺産」が登録されましたが、その広報において、記録資料館の所蔵資料が利用されています。この他、記録資料館では、飯塚市歴史資料館の企画展示「広岡浅子と明治時代の筑豊炭鉱」に、広岡潤野炭鉱の炭鉱札を出品しました。

Topics

伊都図書館をリニューアル

伊都図書館では、27年度後半に改修工事を実施しました。21年度より暫定的に3階を使用していた数理学研究院の移転に伴うものであり、3階に新しい書架や閲覧席を導入し、教材開発センタースタジオ、大会議室、地図室を新設しました。

1 階ラーニングコモンズ1

また、1階に広めの学修スペース「ラーニングコモンズ1」、2階に様々な家具と語学学習用図書等を配置した「国際交流ラウンジ」を整備しました。さらに、理学系部局の移転に伴い、箱崎中央図書館から約12万冊の資料を移転し、地階から3階まで資料の再配置も行いました。このリニューアルをもって、17年10月に開館した伊都図書館が完成形となり、28年4月にグランドオープンを迎えました。

2 階国際交流ラウンジ

新中央図書館（国際化拠点図書館）建設の進捗

26年秋より開始された新中央図書館（国際化拠点図書館）の1期工事が28年3月に完了しました。

1期工事では、建物の3分の1にあたる約7,560㎡が整備され、伊都キャンパス椎木講堂の隣にその姿を現してします。ここには、アクティブ・ラーニング・スペース、教材開発センター、収蔵能力150万冊の自動書庫等が配置されます。今後は、28年10月の1期開館に向け、自動書庫導入工事（4～9月）や教材開発センター移転（7月）等が行なわれます。

一方、27年11月からは1期工事と並行して2期工事も開始されており、建物の3分の2の基礎工事等が行なわれています。新中央図書館周辺では、文系地区総合教育研究棟や図書館に連結するユニバーサルレベルブリッジの整備等も今後本格化し、図書館の利用環境が完全に整備されるまでにはまだまだ時間がかかりますが、28年度後半には自動書庫への資料移転を開始するなど、30年度の伊都キャンパス移転完了に向け、図書館としても着実に移転計画を進めていきます。

竣工した新中央図書館（1期）

芸術工学図書館にアクティブ・ラーニング・スペースを設置

芸術工学図書館は、芸術工学研究院、世界的デザイン教育研究拠点プロジェクト及び附属図書館との協働で、1階の参考図書室をアクティブ・ラーニング・スペースに改装しました。

これまでの雰囲気を一変し、手軽に移動することができる机や椅子、大型ディスプレイ、可動式ホワイトボード、スクリーンとしても使える壁面ホワイトボード、移動型スピーカーシステム、パソコン用の可動式電源を備えて、自由度の高い学修空間として整備しました。机や椅子はシンプルで落ち着いたデザインであるうえに実用性も兼ね備えたものを選定し、ホワイトボードも機能性が高いものとしましたので、他館のものとは印象の異なるアクティブ・ラーニング・スペースになりました。

このエリアでは学修のための対話やディスカッション、板書、ピンナップ、動画・静止画を含む資料の提示などを行うことができます。

ハード面の整備に加えて、Cuterカウンターを設置することによってソフト面でも学修活動への支援を充実しています。なお、2階以上はこれまで通りの静粛性を重んじた空間ですので、目的によって最適な場所を選んで利用することが出来る図書館になりました。

さらに時を同じくして、トイレも全面改修しましたので生活環境面も向上しています。

芸術工学部「らしく」、カジュアルで刺激的な空間も目指してさらに充実していきたいと考えています。

アクティブ・ラーニングスペース

Cuterがティーチング・アシスタントに

附属図書館では、24年3月から図書館学習サポーター(Cuter)として大学院生を雇用し、学生協働による学習支援サービスを展開してきました。箱崎キャンパスの5名だけで活動を開始したCuterは、現在では、活動場所を箱崎・伊都・病院・芸工の4キャンパスへと拡大し、20名を超える人数にまで成長しました。

これまでの活動実績が評価され、Cuterは、27年12月1日付で「九州大学ティーチング・アシスタント実施要項」の中に位置付けられ、全学生を対象とする授業外学習等の教育支援業務をティーチング・アシスタントとして担うことになりました。これに伴い図書館学習サポーターの名称を図書館TA(Cuter)と改めました。図書館における学習・教育支援活動が、学内の教育制度に正式に組み入れられたことは、全国的にも先進的な事例であり、学習・教育活動との連携の面で非常に大きな成果です。

教育の質向上支援プログラムで最高評価Aを獲得

教育改革の推進を目的とした学内プログラム「教育の質向上支援プログラム(Enhanced Education Program:EEP)」に、25年度から26年度にかけて採択されていた附属図書館のプロジェクト「大学図書館による自律的学修支援体制の構築」が事後評価で最高評価Aを獲得しました。

また、27年度は附属図書館の新たなプロジェクト「教育の国際化に対応した学修支援環境の構築 ーアクティブ・ラーナー育成を推進する次世代の大学図書館をめざしてー」が新規採択されています。本プロジェクトでは、27年度から29年度までの3年間に渡り、グローバル化の観点から附属図書館全体の学修・教育支援体制を再構築していきます。附属図書館、付設教材開発センター、統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻が一体となって、関連部署との連携を深めつつ、様々な事業に取り組む予定です。

付設教材開発センターの活動

教材開発センターは、ICTを活用した質の高い電子教材を提供し、教育の質の向上を図ることを目的に様々な事業に取り組んでいます。

1. 基幹教育等の推進のための電子教材の制作及び開発

基幹教育院と連携し、理系ディシプリン科目「プログラミング演習」の英語化、新入生向け、2年生向けの電子教材「アクティブラーナーへの第一歩」「研究の進め方」の英語化、文系ディシプリン科目副教材として平安時代の「宮中儀礼」を3DCGで再現したインタラクティブ電子教材の開発、基幹教育の授業で平安時代の鴻臚館の様子を体験できるヴァーチャルリアリティ教材制作、英単語学習支援システムの開発等に取り組んでいます。

また、関連部局との連携及び学生協働により、医学歴史資料の電子教材の開発、論理的思考を向上させる教育支援システムのプロトタイプ版の開発、放射線治療シミュレーション電子教材を開発しました。

2. 授業等の撮影・公開

本学の授業、講演会、各種イベントを積極的に撮影・収録し、本学ホームページをはじめ、YouTube、iTunesU、OCWにより学内外に広く公開しています。

また、JMOOC講座については、26年度に続き、27年度は「個人と組織のための最先端サイバーセキュリティ入門」及び「Global Social Archaeology: expanded edition (グローバル社会考古学:増補版)」の2講座を開講しました。本教材は、日英の字幕選択機能を有しており、語学学習用としても活用できる有用な教材となり、受講者から高い満足度が得られました。本年度は、初めての試みとして、2講座ともに反転授業を実施しました。

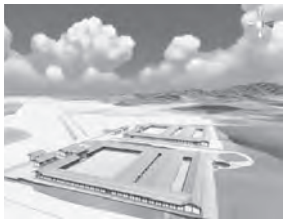
3. FD講習会の開催

教材制作を支援する目的で、電子教材著作権講習会及びM2B(Moodle、Mahara、BookLooper)学習支援システム講習会(基幹教育院と共催)を各キャンパスで積極的に開催しました。

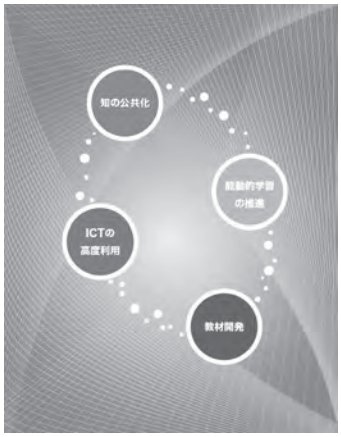
4. 大学学習資源コンソーシアム(CLR:Consortium for Learning Resources)における活動

26年度に設立された本コンソーシアムに参加し、その下に設置したワーキンググループの一つである、活用ガイドラインWGでは、本学が主査をつとめ「大学学習資源における著作物の活用について」のガイドラインをまとめました。

放射線治療シミュレーション電子教材


鴻臚館のヴァーチャルリアリティ教材

JMOOC「個人と組織のための最先端サイバーセキュリティ入門」



教材開発センターのミッション

Topics

オープンアクセス方針を決定

九州大学は、28年1月19日に「九州大学オープンアクセス方針」を採択しました。この方針は、本学に在籍する教員の公的研究資金を用いた研究成果を「九州大学学術情報リポジトリ（QIR）」によって公開することを定めています。これは、九州大学学術憲章に基づき、開かれた大学としてその研究成果を学外に開示し、人類と社会に貢献する学術研究の国際的拠点となることを目指すものです。

方針案は九州大学学術情報リポジトリ専門委員会の教員を中心とした議論の積み重ねにより作成され、27年12月10日の附属図書館商議委員会を経て、教育研究評議会において決定されました。28年度以降、実施要領について検討し、方針の運用を開始する予定です。

リポジトリ(QIR)の発展（学位論文ブラウズ画面、DOI登録）

25年4月の学位規則改正により博士学位論文のオープンアクセス化が原則義務化され、附属図書館は学務部・各学府との連携のもとQIRへの公開作業を行っています。さらに九州大学の学位論文の国際発信力を高めるために、27年5月に九大コレクションの学位論文ブラウズ画面を公開しました。キーワード検索はもちろん、学位の種類や授与年によるブラウジング、オープンアクセスで公開されている論文の絞り込み等が可能になっています。
http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/search/browse/dissertation

また九州大学は27年6月に国立情報学研究所（NII）の取り纏めるジャパンリンクセンター（JaLC）の準会員となり、QIRのコンテンツにデジタルオブジェクト識別子（DOI）を採番・登録することができるようになりました。DOIの登録により、コンテンツに対し、グローバルに流通するIDと永続的なアクセスを保証するURLを与えることができます。10月には博士学位論文、12月には紀要等に対してDOI登録作業を行いました。現在はQIRの公開コンテンツ30,985件のうち、18,473件に対してDOI登録が完了しています（28年3月31日現在）。

アンケート分析に基づいたWebサイトの改修

26年度に実施した附属図書館Webサイトの利用者アンケートを踏まえ、27年度は2度に分けてWebサイトの改修作業を行いました。9月にはWebサイトのトップページを対象に、検索窓を世界の文献から九大コレクションに変更し、開館カレンダーやバナースペース、サイト内検索窓を設置しました。3月には同じくトップページに九大コレクションの新着資料ギャラリーを設置し、サービス内の英語表現の全面的な見直し等を行いました。英語表現については11～12月に実施した留学生アンケートおよびインタビューでの意見を参考にしています。

文献取り寄せサービスを拡充

公費によるe-DDS（電子的文献提供サービス）について、従来利用者の所属するキャンパスに所蔵する資料は対象外でしたが、27年3月より、文系地区を除く全ての雑誌に対象を拡大し、同一キャンパス内にある雑誌でも図書館に足を運ばずに入手が可能となりました。

また、他機関や学外者個人への複写文献の提供、及び貴重資料の図版掲載や放映許可に係る料金の支払い方法について、27年4月より、従来の現金書留による送金から、口座振込に変更し、支払に係る学外利用者の手間と手数料が軽減されました。

さらに、利用者より要望が多かった所蔵資料のデジタル撮影について、関連規程を整備し、27年4月より貴重資料等の撮影を許可することとしました。コピー入手にかかる時間・手間・費用が節減され、利用者に大変好評です。

図書購入機能をリニューアル

27年9月に「研究費での資料購入（図書）」でAmazonの書誌データを使ったデータ入力補助機能が追加され、図書情報入力の省力化が実現しました。11月にリニューアルした「図書購入リクエスト」では、入力補助機能の搭載に加え、自身がリクエストした図書について、マイページ内で状況を確認することができるようになりました。

カビ被害対策事業を実施

田嶋記念大学図書館振興財団からの助成を受け、キャンパス移転に向けた移転対象資料のカビ被害対策事業を実施しました。カビ被害状況調査を基に、カビ被害が深刻なエリアのくん蒸及びクリーニング作業やサーキュレーターの設置による書庫環境の改善等の対策を行うとともに、移転完了までのクリーニング計画を作成しました。

文系合同図書室における
カビ除去作業

九州大学新聞の電子化画像を公開

27年8月、大学文書館と附属図書館との共同事業として、『九州大学新聞（九州帝国大学新聞）』の画像データを公開しました。九大コレクションの検索窓にキーワードを入力し、記事タイトルで検索することが可能です。

『九州大学新聞』は、九大法文会により昭和2（1927）年6月18日に発刊され、平成15（2003）年3月25日発行の第954号をもって休刊となりました。現在のところ、初号（1927年）から第740号（1980年）までを公開しています。

九大コレクション＞成果文献＞出版物＞九州大学新聞
https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/publications_kyushu/univshinbun

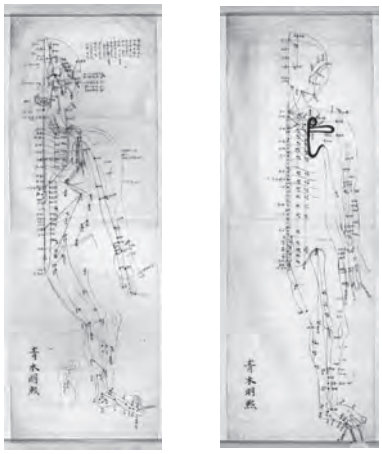
第1号（昭和2（1927）年6月18日）
http://hdl.handle.net/2324/1520195

福岡市博物館市史編さん室の青木家文書調査

27年6月、福岡市博物館市史編さん室により、医学図書館が所蔵する青木家文書の調査、撮影が行われました。

青木家は、近代に編纂された系譜によれば、豊臣秀吉家臣で越前北ノ庄城主青木一矩を祖とし、関ヶ原の戦いで青木家が改易されると、一矩の子の一宗が九州に下り、筑後国御井郡府中町に住んだと伝えられています。長崎で南蛮流の医学を学んだ青木道琢（号雕山、1640～1700）が名医として盛名を得て以降、代々黒田藩主の侍医をつとめました。

青木家文書は、医学史料（処方箋、経絡図等）、中世文書（赤尾家文書）の写、近世文書、詩文等からなり、附属図書館研究開発室員のミヒェル・ヴォルフガング氏の調査により、その資料的な価値の高さが明らかになりました。福岡市博物館市史編さん室作成の画像と目録情報は、附属図書館Webサイトの「九大コレクション」より公開しており、今後の医学史、中世史、地域史、文学史研究に大きく寄与することが期待されます。



経絡図

ユネスコ世界遺産広報及び申請への協力

27年7月、ユネスコの世界遺産に、「明治日本の産業革命遺産」が登録されました。九州大学には、記録資料館を中心に、近代日本の産業革命遺産に関わる資料群が大量に所蔵されており、改めてその価値の高さが注目されています。右のように、九州各地にある世界遺産の広報においても、記録資料館の所蔵資料が利用されています。

・記録資料館所蔵の高島炭鉱模型を、長崎市総務局世界遺産部門に寄託
・鹿児島県企画部世界文化遺産課が企画するプロモーション映像に、記録資料館所蔵の『The far east』（元山文庫）の古写真を提供

また、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議が、28年2月にユネスコに提出した推薦書に、中央図書館所蔵の天和2（1682）年『御国絵図』（廣瀬文庫）が使用されています。

「広岡浅子と明治時代の筑豊炭鉱」展に炭鉱札を出品

記録資料館産業経済資料部門では、27年9月18日から12月8日にかけて、福岡県飯塚市歴史資料館の平成27年度企画展「広岡浅子と明治時代の筑豊炭鉱」に、広岡潤野炭鉱の炭鉱札を出品しました。

広岡浅子は、NHK連続テレビ小説（いわゆる朝ドラ）の「あさが来た」でモデルとなった人物です。大同生命の設立は明治35（1902）年のことですが、それよりも前の明治17（1884）年には、夫の信五郎と共に筑豊地方の広岡潤野炭鉱の経営にも携わっています。ピストルを持って坑夫たちと渡り合ったエピソードは有名です。

資料は、広岡浅子・信五郎夫妻が経営した当時の広岡潤野炭鉱の炭鉱札です。発行した炭鉱の購買所などだけで使用できた私幣でした。

右側が石炭20斤（12kg）、左側が石炭200斤（120kg）の仕事量に対して労働者たちに支払われたもので、時代は共に1890年代後半のものと推測されています。

炭鉱札（広岡潤野炭鉱）

展示会・講演会 Exhibitions& Seminars

平成27年度九州大学開学記念行事 第56回附属図書館貴重文物展示「雅俗繚乱―中野三敏 江戸学コレクションの世界―」

【期　間】平成27年5月11日(月)～18日(月)
【会　場】九州大学中央図書館2F特設会場
【主　催】九州大学附属図書館
【来場者】711名
・関連講演会「江戸文化辻談義――中野コレクションから見えるもの」
【日　時】平成27年5月16日(土)13:00～17:00
【会　場】同4F視聴覚ホール
【講演者】「私の江戸学」中野 三敏(九州大学名誉教授)
「読本コレクションと談義本研究」飯倉 洋一氏(大阪大学文学研究科教授・日本近世文学)
「近世法帖の世界」岩坪 充雄氏(文京学院大学・日本近世書道史)
トークセッション
【来場者】208名

本展示では、中野三敏本学名誉教授の旧蔵コレクション「雅俗文庫」を中心に、73点を紹介しました。「雅俗文庫」の「雅」とは伝統文化で、和歌・漢詩・擬古文の類、「俗」とは新興文化で、俳諧・川柳・小説の類を指し、「雅俗文庫」はこの双方の融和こそが 江戸文化の神髄という氏の文化観が反映された、約6,000点にのぼるコレクションです。

来場者は展示資料のくずし字を判読したり、多彩な挿絵を楽しんだりと熱心にご覧になっていました。

また関連講演会では、三氏からの講演の後、トークセッションが行われ、それぞれの先生方がその研究分野に進んだきっかけや和本蒐集の悩みなど、普段は聞くことのできないお話が披露されました。満員の会場では先生方のユーモアある語りに時には笑いが起こるなど、和やかな雰囲気の会となりました。

講演会の動画は、YouTubeの九州大学公式チャンネルで公開しています。

Youtube>「江戸文化辻談義」で検索
https://youtu.be/DwY2i53ZT6w?list=PLVhByfY_xuBJmlUyoChYz2YlmNAzlDKRZ

じっくりと展示物を眺める来場者

講演会の様子

Library Lovers'キャンペーン2015

【期　間】平成27年10月20日(火)～11月16日(月)
【会　場】各キャンパスの図書館・室

九州地区の大学図書館が合同で実施する「Library Lovers' キャンペーン」、6年目となる27年度は、41の大学図書館が参加しました。今年度の九州地区合同企画「ブックレシピ ―本を料理しろ。」では、「"知のつながり"を楽しむ」をコンセプトとし、独自のテーマに沿ったオススメ本3冊をコメント付きのブックレシピとして募集し、展示や配布を行いました。期間中に九州中から集まった471件の「ブックレシピ」は、キャンペーンWebサイトで見ることができます。
http://librarylovers2015.blog.jp/

期間中に本学では、以下のオリジナルイベントを行いました。

●Talking Night

学生の興味関心を広げることを目的に、様々な分野の教員に、「「学生」の私、「現在(いま)」の私」をテーマに語ってもらいました。

[中央図書館]
①10/28宮本一夫教授(人文)「ユーラシアを東から西へ ―考古学者の道―」
②10/29後藤貴文准教授(農)「Q Beef へのこれまでの道、これからの道」
③10/30吉田素文教授(医)「とある医学教育者の振り返り」
④11/9田北雅裕講師(人環)「ちっぽけな風景との出会い」

[芸術工学図書館]
10/20妹尾武治准教授(高等)「とある駄目人間の心理学者としての日々」

[伊都図書館]
11/11比良松道一准教授(決断科学)「食で変わる人生」
参加者:計171名

●音楽の夕べ

本学総合研究博物館を始めSPレコードを所有している各所の協力を得て、医学・伊都・芸工・中央の各図書館で、各回8曲を蓄音機で鑑賞しました。参加者:計97名

●全国大学ビブリオバトル2015　九州大学予選会

・箱崎キャンパス予選会(10/26於中央図書館きゅうとコモンズ)
登壇者:25名(4ゲーム実施)、観戦者: 延べ69名
・伊都キャンパス予選会(11/13於嚶鳴天空広場Q-Commons)
登壇者:8名(2ゲーム実施)、観戦者:延べ42名
勝ち抜いた6名が九州北部地区決戦に進出

●キャンペーン特製しおり「あなたのデザイン、しおりにします!」

しおりのデザインを学生から公募し、15作品約3000枚を各館で配布しました。

●本のリユース

キャンペーンの定番となった好評企画。今年も「他の人にも読んでもらいたい」本の交換所を設けました。

常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーにて、27年度は以下の展示を行ないました。

●シリーズ展示「標本にみる九州大学の研究」(総合研究博物館共催)

【第4回】「九州大学の植物標本」(H27.4.13～7.8)
【第5回】「九州大学の昆虫標本　part.2」(H27.7.9～H28.1.12)
【第6回】「九州大学の昆虫標本　part.3」(H28.1.13～3.31)

医学図書館小企画展示「九州大学附属図書館と狩野文庫―眼科学教室旧蔵本を中心に―」

【期　間】平成27年11月26日(木)～12月16日(水)
【会　場】九州大学医学図書館1階ロビー
【企画・監修】附属図書館研究開発室
　　コンテンツの形成及び保存に関する調査研究班
【来場者】235名

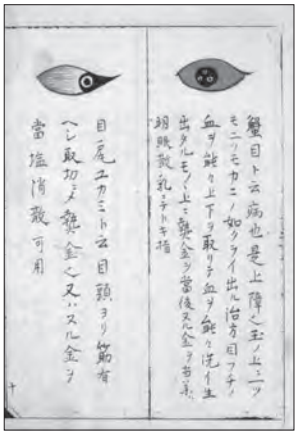
医学図書館の貴重書の中には、狩野亨吉(思想家・教育者・大蒐書家)から購入した図書が多数存在する事実が近年の研究により明らかになりました。眼科学教室初代教授の大西克知が日本一の図書室を作りたいと願い、義兄の菅虎雄の親友で、親交のあった狩野亨吉に蔵書構築を依頼したのが基になっています。狩野亨吉と大西克知の生誕150周年を記念して眼科学教室旧蔵本の狩野文庫に焦点を当てた小企画展示を行いました。

図書館職員が企画・実施した(企画の内容はウェブガイド・「Cute.Guides狩野亨吉と九州大学」を基にしている)小規模な展示会でしたが、会場を何回も訪れる研究者、医学部OBの方も見られ、九大医学史関係の展示会の定期開催を望む声も多く寄せられました。

展示会のパネル資料をウェブ上で公開しています。

図書館ウェブサイト>Cute.Guides>狩野亨吉と九州大学
https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/sites/default/files/kanotenji2_0.pdf

展示会ポスター


『馬島眼療之図』

展示風景

学術講演会「大学図書館の将来」

【日　時】平成27年8月3日(月)　13:00～15:00
【会　場】九州大学中央図書館　4階視聴覚ホール
【主　催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻、
　　九州大学附属図書館
【後　援】九州地区大学図書館協議会
【参加者】123名

大学図書館は、オープンアクセス、機関リポジトリ、ラーニングコモンズ、オープンデータといったキーワードで示される大きな変化の渦中にあります。「アカデミック・リンク」というコンテンツの活用を中心に据えた新しい学習環境の創出のための取組みをされている、千葉大学副学長兼附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長の竹内比呂也氏を招いて、これからの大学図書館あるいは大学図書館員がどのような役割を果たしていくのかについて、講演していただきました。

学術講演会「図書館における資料選択―2015年のトピックから―」

【日　時】平成27年12月15日(火)　16:30～18:00
【会　場】九州大学中央図書館　4階視聴覚ホール
【主　催】九州大学附属図書館
【共　催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
【後　援】九州地区大学図書館協議会
【参加者】102名

2015年は、いわゆる「ツタヤ図書館」における資料選択、神戸児童連続殺傷事件元少年Aによる『絶歌』、そして出版の実質がない状態で納本制度を利用して多額の代償金を得ていた高額出版物納本問題など、図書館の資料選択について、かつてないほどメディアで報道された年となりました。附属図書館研究開発室訪問研究員で、日本女子大学准教授の大谷康晴氏に、2015年のトピックを紹介しながら、図書館における資料選択という古くて新しい問題について、講演していただきました。

展示会・講演会 Exhibitions& Seminars

図書館TA(Cuter)による企画イベント

図書館に自律的な学びの雰囲気を生み出すため、図書館TA(Cuter)が専門知識や経験や人脈を活かしたイベントを図書館職員と協働して企画・実施しています。

●Cuter Café

特定のテーマに関する専門性を持つゲストを招いて、自分達の将来を考えるきっかけとなるようなトークイベントを定期的に開催しています。

平成27年10月19日　自分らしく生きる
～多様な性から考えてみよう～
平成27年12月16日　ボルシチしか知らないあなたへ
～ロシア文化への誘い～
平成28年 2 月27日　SIM熊本2030 in 九大
～体感しよう! ゲームで考えるまちづくり～

●九大100冊 ―Classic Books Library Cafe―

21年に九州大学の各分野の教員が選んだ「九大100冊」の中からテーマ本を選び、ナビゲーター役の先生と図書館TA(Cuter)と共に、不朽の名作をみんなで味わう読書会です。

平成27年11月 4 日　魯迅『阿Q正伝』
平成28年 1 月13日　トーマス・マン『トニオ・クレーゲル』

図書館TA(Cuter)選書展示

Quriconの様子

●Quriconとの合同企画

Quriconとは、自身の研究紹介プレゼンテーションを通して、学部・学府・学年を超えた学際交流を図る学生団体です。元々は理学部・理学府内の学生団体でしたが、図書館TA(Cuter)が発表者や運営者として参画することにより、同団体の研究交流イベントは文系理系の垣根を超えた活動へと進化しました。

平成27年 4 月11日　採用者に学ぶ!学振(DC1 & DC2)のとり方
平成27年 7 月10日　趣味×研究の化学反応
～好きが高じて専門になっちゃいました特集～
平成27年12月11日　今宵は学問にどっぷりと
～ノーベル賞とイグノーベル賞に迫る～

●Cuter選書

毎月テーマを決めて、図書館TA(Cuter)がおすすめの本を紹介する展示企画です。「1年生に読んで欲しいおすすめ本」「洋書が読める九大生ってカッコイイじゃないですか…」「身も心も温まる本」といったお題で実施しました。

●選書ツアー

芸術工学図書館の図書館TA(Cuter)2名が、書店を訪問し、学生目線で現物を確認しながら、図書館職員からあらかじめ伝えられた選書の基準に沿って、図書館に配架する図書を選定しました。選定した図書は館内に特別コーナーを設置して展示しています。

学術情報セミナー「Next D ～データが創り出す新たな世界～」

【日　時】平成27年7月31日(金)　13:00～17:10
【会　場】九州大学中央図書館　4階視聴覚ホール
【主　催】九州大学附属図書館、株式会社サンメディア
【後　援】九州地区大学図書館協議会
【参加者】50名

本セミナーでは、オープンアクセスの動きをはじめとする、日々つくりだされる膨大な学術情報流通をめぐる今後の展開に目を向けつつ、学術情報の様々な可能性について、講演と事例報告等を通して、参加者とともに考察しました。

【プログラム】

講演1「進むオープンアクセスの動き―国内での取り組みと海外の状況」
三角太郎氏(機関リポジトリ推進委員会協力員・千葉大学附属図書館)
講演2「大学での教材開発における著作権処理について」
吉田素文(九州大学附属図書館副館長・医学研究院教授)
セッション1「学術情報のトレンドと最新情報」
IOPP英国物理学会出版局日本事務所　(株)OUPオックスフォード大学出版局
ProQuest日本支社、(株)シュプリンガー・ジャパン
「Karger125周年にあたって」
(株)カルガージャパン
「学修環境の向上に向けて―Chromebookの導入と活用」
北島光朗(九州大学情報システム部)
e-Port UpDate
セッション2「Summonの導入事例～ディスカバリーサービスがつくる「NEXT」～」
馬淵沙織氏、長谷川智史氏((株)サンメディア)
飯野勝則氏(佛教大学図書館専門員)

学術講演会「サブジェクトライブラリアンへの道程(みち)」

【日　時】平成27年7月22日(水)　13:00～14:30
【会　場】九州大学中央図書館　4階視聴覚ホール
【主　催】九州大学附属図書館
【共　催】福岡アメリカン・センター、
九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
【参加者】148名

米国シアトルのワシントン大学図書館で日本研究司書として活躍されている田中あずさ氏を招いて、学術講演会を開催しました。日本の大学で学部を卒業後アメリカの大学院に留学し、在学中サブジェクトライブラリアンという職と運命の出会いを果たした講演者がサブジェクトライブラリアンになるまでの道のりと、日々の仕事について、日米の大学教育や図書館の仕組みの違いに焦点をあてて、講演していただきました。

国際化 Internationalization

スーパーグローバル大学創成支援事業「戦略的改革で未来へ進化するトップグローバル研究・教育拠点創成（SHARE-Q）」の2年目となる27年度は、これまでの実績や26年度に行った留学生の図書館利用状況調査の分析に基づき、国際化対応へのさらなる取り組みを進めました。

●留学生支援の強化

九州大学の学生（日本人・留学生）と教員からなる国際化学生委員会（SCIKyu）等との連携により、図書館ウェブサイトの英語表記の改善や新たな国際交流スペースの整備の検討を進めました。また、短期留学プログラムの伊都地区移転に伴い、日本学コレクションの資料を嚶鳴天空広場Q-Commonsに移転したほか、SHARE-Q経費により短期留学プログラム用教科書・参考書等の整備を行いました。

24年度から実施している新入留学生向け図書館ツアーには、27年度前後期併せて367名（前年度比25%増）の留学生が参加しました。また、英語での講習会も、国際コース向け、目的別、ツール別など多様な形態で実施しています（詳しくはp.11参照）。

●国際交流スペースの整備

伊都図書館の改修工事に伴い、2階閲覧席の一部約170㎡を国際交流ラウンジとして再整備し、28年4月オープンしました。また、28年10月に一部オープンする新中央図書館においても、国際交流ゾーンを含む約1,000㎡のアクティブラーニングスペースの整備が進んでいます。

●日本人学生の国際化支援

伊都図書館の多読用図書の充実、多読用電子ブックの導入に加え、中央図書館において留学情報コーナーを拡充し、語学参考書や各国のガイドブックなどを大幅に充実させました。

●EEP（教育の質向上プログラム）での取り組み

27年度からのEEP「教育の国際化に対応した学修支援環境の構築」の取組の中で、教育の国際化を支えるコンテンツ整備体制の構築と利用者教育を重点課題に据え、学生と協働した選書の試行や洋書の充実方策の検討、自学用教材の開発を進めています。

伊都図書館国際交流ラウンジと多読用図書

交流協定図書館との資料交換（平成27年度）

九州大学 → ソウル大学校　九州大学出版会図書23冊を寄贈

九州大学 → 慶北大学校　九州大学発行の紀要11冊を寄贈

海外との往来

ー往訪ー

【訪問者】北島　光朗（デジタルライブラリ担当職員）
【日　程】平成27年11月14日～11月21日
【訪問先】ロンドン、マンチェスター（イギリス）
【目　的】平成27年度職員海外研修(自主課題研究)
（ウェストミンスター大学、サセックス大学、マンチェスター大学）

【訪問者】石田　栄美（研究開発室准教授）
兵藤　健志（eリソースサポート係長）
萩原　泰子（図書目録係員）
【日　程】平成27年12月9日～12月13日
【訪問先】ソウル（韓国）
【目　的】国際会議Asian Digital Library Conference(ICADL2015)及びワークショップ（CiSAP2015）に参加

【訪問者】渡邊　由紀子（利用支援課長・准教授）
【日　程】平成27年12月11日～12月13日
【訪問先】ソウル（韓国）
【目　的】ワークショップ（CiSAP2015）に参加

【訪問者】林　豊（リポジトリ係員）
【日　程】平成28年2月20日～2月27日
【訪問先】ビーレフェルト、ゲッティンゲン、コンスタンツ（ドイツ）
【目　的】OpenAIREのメタデータマネジメントに関する調査（ビーレフェルト大学、ゲッティンゲン大学、コンスタンツ大学）

【訪問者】宮本　一夫（附属図書館長）
石田　栄美（研究開発室准教授）
畑埜　晃平（研究開発室准教授）
【日　程】平成28年2月29日～3月9日
【訪問先】ボストン、イリノイ州アーバナシャンペーン、カリフォルニア（オークランド、バークレイ）（アメリカ合衆国）
【目　的】ハーバード大学the Berkman Center、イリノイ大学図書館情報学科・大学図書館、カリフォルニアデジタルライブラリ、UCバークレイ図書館を訪れ、デジタルアーカイブやオープンデータの最新の動向、及び運用面での体制や課題などについて調査

講習会/Cute.Guides Library Workshops / Cute.Guides

◆講習会

学習・研究を行う上で必要な文献を効率よく探し活用できるよう、学生・教職員を対象に様々な講習会を開催しています。図書館側であらかじめ内容や日時を設定し広く参加を呼びかける「図書館企画」の講習会、教員からの要望に応じて内容や日時を全てカスタマイズして行う「オンデマンド」の講習会を並行して実施しています。

図書館企画の講習会の新たな試みとして、27年度は、学生や教員が参加しやすいよう、平日や学期中に加えて、土曜日や夏休みにも開催日を設けました。また、ニーズの高まりに応え、文献検索や文献管理といった図書館が従来扱ってきた技能だけでなく、論文執筆やプレゼンテーションといった情報表現の技能習得のための講習会を拡充しました。

〈主な講習会〉

●英語論文の集め方

研究室に配属され、自身の読むべき英語論文を幅広く探したい、主に理系・医学系の学部4年生から大学院生に向けたガイダンスです。PubMed、Scopus、Web of Science、Google Scholarの特徴を説明し、読むべき英語論文を効率よく探す方法を紹介しました。箱崎、伊都、病院、筑紫の4キャンパスで1回ずつ開催し、合計200名以上の参加がありました。

●1年生向けレポートの書き方講座

基幹教育の授業支援として開催した講習会で、学部1年生423名が受講しました。26年度に引き続き図書館TA(Cuter)が講師を務めており、同講座を開催するにあたっては、図書館職員とCuterとがミーティングを重ね、受講者に練習の機会を提供できるよう添削用レポートを作成する等、内容の充実を図っています。

●論文執筆のための英語ライティング講座

アカデミック・ライティングを専門とするトム・ガリー教授を東京大学から講師にお招きし、英語論文の書き方に関するセミナーを開催しました。日本人が間違いやすい英文表現、似た単語の使い分け方、よい英語表現とは何か、といったトピックについてQ&A形式の講義で実施しました。105名という多数の参加があり、参加者から非常に高い評価を得ました。

平成27(2015)年度実績

●種類別

会場	図書館企画		オンデマンド		計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
箱崎	65	483	26	490	**91**	**973**
伊都	58	952	16	589	**74**	**1,541**
病院	54	689	11	372	**65**	**1,061**
大橋	3	15	1	11	**4**	**26**
筑紫	8	67	1	4	**9**	**71**
合計	**188**	**2,206**	**55**	**1,466**	**243**	**3,672**

●受講者別

会場	受講者数					
	教職員	院生	学部生	学内その他	学外者	計
箱崎	62	502	352	55	2	**973**
伊都	55	283	1,138	65	0	**1,541**
病院	221	401	329	87	23	**1,061**
大橋	1	16	3	6	0	**26**
筑紫	1	58	9	3	0	**71**
合計	**340**	**1,260**	**1,831**	**216**	**25**	**3,672**

●実施言語別

言語	回数	受講者数
日本語	223	3,131
英語	18	465
日英混在	2	76

●講師別

講師	回数	受講者数
図書館職員	189	2,593
Cuter	20	442
図書館職員・Cuter協働	6	127
外部講師	28	510

◆Cute.Guides

Cute.Guidesは附属図書館がWeb上で提供する調べ方ガイド・学習ガイドです。25年3月の正式公開から3年が経ち、図書館職員、図書館TA(Cuter)、教員の作成による様々なコンテンツを公開しています。学生を自律的な活動へと導くために、図書館が発信する重要なリソースとして今後もコンテンツの拡充を図っていく予定です。

図書館ウェブサイト>Cute.Guides
http://guides.lib.kyushu-u.ac.jp
ガイド総数 112点(28年3月31日現在)
ガイドへのアクセス数　275,019ページビュー(27年度)

27年度に公開した主なガイド
●大学生におすすめのTED集 ―効果的プレゼンテーションと学習のヒント―
●九大教職課程を履修するあなたに
●狩野亨吉と九州大学
●IF/CIの調べ方 -Web of ScienceとJournal Citation Reportsを中心に-

Cute.Guides:大学生におすすめのTED集

新規コレクション・電子化コンテンツ Newly Released Collection・Digitized Contents

新規コレクション

◆大型図書資料

人文社会科学分野の研究資料の充実のため、大型図書資料として以下の3点を購入しました。

●マイクロフィルム版「静嘉堂文庫所蔵　宋元版」宋版（316リール）

我が国の静嘉堂文庫が所有する宋元版は、大半は清朝末期の蔵書家陸心源の「皕宋楼」と称された書庫に所蔵されていたもので、漢籍における世界最大級の善本コレクションです。今回その全冊がマイクロフィルム版として公刊され、全体のおよそ半分（127部2,629冊）を占める宋版の部では、18点が重要文化財に指定されています。

●貧困・伝染病と公衆衛生コレクション（53点）

公衆衛生政策を先導した、18世紀後半から20世紀初頭にわたるイギリスの衛生改革に関わる第一級の一次史料集成です。25年度に整備した「近現代イギリスの労働環境をめぐる貧困と福祉」コレクションと併せ、近現代のイギリス「生政治」史コレクションとして全国唯一の貴重な体系的史料集成となっています。

●初期近代英国政治思想史コレクション（11点）

初期近代（17世紀）の英国で出版された、政治学・政治思想史の原典を精選したコレクションです。マキァヴェッリ『ディスコルシ』英訳初版、ベイコン『学問の進歩』初版、ホッブズ『リヴァイアサン』ラテン語訳初版をはじめ、近代西洋思想や英国政治の形成に大きな影響を与えた哲学者・思想家・人文主義者・君主・宮廷人たちによる重要かつ貴重な古典を広く揃えています。

ベイコン『森の森』（附:『ニュー・アトランティス』）1629年
（初期近代英国政治思想史コレクション）

◆寄贈コレクション

●西村重雄法学研究院名誉教授旧蔵本（中央図書館所蔵）

西村名誉教授より、ラテン語を主とした法律関係の稀覯書約70冊を寄贈いただき、16世紀から18世紀に刊行された貴重な資料を本学の蔵書に加えることができました。

新規電子化コンテンツ

●「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」プロジェクト

国文学研究資料館のプロジェクト参加機関として、以下のコレクションのマイクロフィルムを電子化した画像が、国文学研究資料館のサイトから公開されました。

・九州大学附属図書館細川文庫（206点）
・九州大学文学部（598点）
・九州大学附属図書館支子文庫等（233点）

所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベース（国文学研究資料館）
http://base1.nijl.ac.jp/~wakosyo/

●福岡藩（黒田藩）・久留米藩の古文書等（148点）

九州大学所蔵のマイクロフィルムを電子化したもので、廣瀬文庫、法制史料、江島文庫、江藤正澄関係資料、西田文庫の資料の一部等が含まれています。

その他、インターンシップ学生の実習の一環として撮影した画像等を公開しました。また、資料の電子化公開にあたり人権やプライバシーの配慮について定めた「九州大学附属図書館デジタル化画像公開ガイドライン」とその実施要領を策定しました。

九大コレクション＞貴重資料
http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/search/browse/rare

幕末に日本で作成されたイギリスの地図（筑紫文庫）

100年前にロンドンのブロックウェル・パークで撮影された郡虎彦の写真

研究開発室 Research& Development

平成27年度研究開発室研究開発事項

●総括

研究開発の総括	宮本　一夫（附属図書館長、副学長）	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。

●Ⅰ 学習・教育活動との連携に関する分野

学習・教育支援に関する調査研究	吉田　素文（副館長） 石田　栄美（研究開発室） 山田　政寛（基幹教育院） 井上　仁　（情報基盤研究開発センター）	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行う。
教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田　義広（付設教材開発センター） 吉田　素文（副館長）	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかる著作権処理問題について調査研究を行う。

●Ⅱ コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

コンテンツの形成および保存に関する調査研究	山口　輝臣（人文科学研究院） 川平　敏文（人文科学研究院） 中里見　敬（言語文化研究院） 三輪　宗弘（付設記録資料館） Wolfgang Michel（特別研究員）	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、由来や内容、価値等の調査や、画像及び書誌データベース作成等についての調査研究を行うとともに、図書館における資料保存・管理体制等についての調査研究を行う。
学術情報の流通および発信に関する調査研究	馬場　謙介（研究開発室） 廣川佐千男（情報基盤研究開発センター） 伊東　栄典（情報基盤研究開発センター） 冨浦　洋一（システム情報科学研究院） 池田　大輔（システム情報科学研究院） 荒木啓二郎（システム情報科学研究院）	九州大学が蓄積する学術情報資源をより効果的に発信するために、発信機能の高度化と検索システムに関する研究開発を行う。

●Ⅲ 図書館運営に関する分野

情報専門職の育成に関する調査研究	石田　栄美（研究開発室） 岡崎　　敦（人文科学研究院）	図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
新たなサービスの創出に関する調査研究	石田　栄美（研究開発室） 馬場　謙介（研究開発室） 藤崎　清孝（システム情報科学研究院） 松原　孝俊（韓国研究センター） 南　　俊朗（九州情報大学）	図書館利用状況の分析や国内外図書館の視察等にもとづき、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。

●新専任教員の着任

馬場謙介准教授の転出の伴い、8月より新たに畑埜晃平准教授が着任しました。

●附属図書館研究開発室成果発表会を開催

28年1月27日、附属図書館研究開発室活動発表会を開催しました。

【プログラム】

大谷康晴（日本女子大学文学部准教授、研究開発室訪問研究員）
「わが国の公共図書館の全域サービスに関する考察」
中里見敬（言語文化研究院准教授、コンテンツの形成および保存に関する調査研究）
「『濱文庫所蔵唱本目録』の編纂を終えて」
南俊朗（九州情報大学教授、研究開発室特別研究員、新たなサービスの創出に関する調査研究）
「図書館マーケティングのためのデータ解析」
石田栄美（研究開発室准教授、新たなサービスの創出に関する調査研究）
「図書館履歴データの活用可能性」
畑埜晃平（研究開発室准教授、学術情報の流通および発信に関する調査研究）
「数理最適化に基づく電子ジャーナルの購読計画の試み～九州大学の場合～」
伊東栄典（情報基盤研究開発センター准教授、学術情報の流通および発信に関する調査研究）
「利用者投稿型コンテンツの多様性動向分析」
池田大輔（システム情報科学研究院准教授、学術情報の流通および発信に関する調査研究）
「FREEDxDOM: データ流通基盤のプラットフォーム構築を目指して」

『濱文庫所蔵唱本目録』の編纂や数理最適化に基づく電子ジャーナルの購読計画など、図書館職員の参加・協力による研究成果が報告され、研究者と図書館職員との連携による成果を示した意義深い発表会となりました。

成果発表会の様子

職員研修 Staff Development

eリソース連携チーム&図書館TA(Cuter)研修 「アカデミック・ライティングを考える」

「教育の質向上支援プログラム(Enhanced Education Program: EEP)」の一環として、本学の図書館職員および図書館TA(Cuter)向けに、研修会「アカデミック・ライティングを考える」を開催しました。午前の部「初年次ライティング教育の効果的な指導について」、午後の部「論文執筆のための英語ライティング講座」の2部で構成し、午後の部は、図書館職員および図書館 TA (Cuter)の研修会としてだけでなく、学生・教職員を対象とした講習会(p.11参照)としての位置付けも兼ねて、学内の構成員に広く参加を呼びかけました。

【開催日】平成28年3月23日(水)
【会　場】九州大学病院キャンパス基礎研究A棟1F セミナー室/第2講義室
【講　師】トム・ガリー氏(東京大学教授)
【参加者】午前の部 29名
　　午後の部 23名

和装本修復作業研修

九州大学附属図書館では、100年以上にわたって蒐集された和装本を大量に所蔵しており、雅俗文庫や春日政治・和男文庫など、和装本を中心とするコレクションの受入が近年続いていることもあり、和装本の修復技術の向上が大きな課題となっております。

28年3月8日、人文科学府の大学院生と図書館職員15名との共同で、糸が外れた和装本を綴じ直す修復作業を行いました。作業の結果、短時間で約160冊もの和装本が修復され、参加者も修復技術の修得を実感したようでした。今後の修復に活かされることが期待されます。

平成27年度海外出張報告会

【日　時】平成28年3月18日(金)　14:00~17:00
【会　場】九州大学中央図書館　新館4階会議室
【参加者】31名

26~27年度に海外に出張した教職員がその内容と成果を報告しました。

【プログラム】

工藤絵理子(eリソースサポート係員)
「大学の国際化のための職員勉強会:特別講習@イギリス」
沖政広(eリソースマネジメント係長)
「オーストラリアの大学における電子ジャーナル契約に関する訪問調査」
石田栄美(研究開発室准教授)・兵藤健志(eリソースサポート係長)
「アメリカ西海岸の大学図書館における学習・教育・研究支援」
渡邊由紀子(利用支援課長・准教授)
「ACRL2015大会から見た大学図書館の実践的課題」
北島光朗(デジタルライブラリ担当職員)
「イギリスの大学図書館における情報部署との連携体制および学習環境の整備について」
林豊(リポジトリ係員)
「OpenAIRE:欧州の学術コミュニケーションを支えるインフラストラクチャ」
石田栄美(研究開発室准教授)・畑埜晃平(研究開発室准教授)
「アメリカの大学におけるオープンアクセス・オープンデータに関する実践事例」

平成27年度図書系職員初任者研修

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。

これらの講義は、初任者以外の職員も多数聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

【プログラム】

4/22(水)
- 九州大学附属図書館の概要と図書館業務の流れ
- 中期計画・年度計画について
- 統合移転と新図書館計画
- 伊都図書館&嚶鳴天空広場Q-Commons見学
- 文献検索演習
- ネットワークとセキュリティ
- 学術情報流通と発信
- 国際化、留学生支援について
- 学修教育支援

目録システム地域講習会(図書コース)

国立情報学研究所と共催で、下記の講習会を開催しました。

当該講習会の国立情報学研究所との共催は最後となりました。九州地区の大学図書館職員17名が参加し、目録の実務について熱心に学びました。

【開催日】平成27年8月19日(水)~21日(金)
【参加者】17名
【内　容】総合目録データベースの構成、内容、データ登録の考え方(入力基準)の修得

統計 =利用サービス= Statistics

平成27〈2015〉年度

		中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.	合　計 Total
年間開館日数 Opening days （日）	平　日 Weekday	239	238	241	239	234	173	227	1,591
	土　曜 Saturday	50	48	32	50	48	0	43	271
	日曜･祝日 Others	64	64	3	0	63	0	0	194
	合　計 Total	**353**	**350**	**276**	**289**	**345**	**173**	**270**	**2,056**
入館者数 Visitors （人）	教職員 Faculties	15,061	9,913	2,547	8,519	12,495	63	3,780	52,378
	学　生 Students	320,896	114,947	22,022	34,074	319,696	121,855	16,643	950,133
	学外者 Others	25,720	4,745	622	6,624	8,043	0	157	45,911
	合　計 Total	**361,677**	**129,605**	**25,191**	**49,217**	**340,234**	**121,918**	**20,580**	**1,048,422**
貸出冊数 Circulations(Items) （冊）	教職員 Faculties	8,497	3,670	1,650	1,766	11,524	86	11,849	39,042
	学　生 Students	57,053	11,009	12,973	6,606	78,937	2,113	37,140	205,831
	学外者 Others	2,032	63	224	282	816	0	2	3,419
	合　計 Total	**67,582**	**14,742**	**14,847**	**8,654**	**91,277**	**2,199**	**48,991**	**248,292**
貸出者数 Circulations(Users) （人）	教職員 Faculties	4,902	2,290	929	1,282	6,735	63	5,512	21,713
	学　生 Students	34,438	8,201	5,922	4,568	47,491	1,552	20,079	122,251
	学外者 Others	1,463	46	134	167	491	0	2	2,303
	合　計 Total	**40,803**	**10,537**	**6,985**	**6,017**	**54,717**	**1,615**	**25,593**	**146,267**
文献複写等件数 Resource Sharing(copies) （件）	学外からの受付（国内） Requests(Domestic)	2,645	9,913	275	-	832	-	-	13,665
	学外からの受付（国外） Requests(International)	110	0	6	-	0	-	-	116
	小計 Subtotal	2,755	9,913	281	-	832	-	-	13,781
	学内からの受付 Request within KU	1,140	797	195	51	502	-	-	2,685
	（内､E-DDS件数） (E-DDS of above)	(115)	(281)	(15)	(11)	(145)	-	-	(567)
	合　計 Total	**3,895**	**10,710**	**476**	**51**	**1,334**	**-**	**-**	**16,466**
	（うち謝絶） (cancel)	**696**	**1,383**	**51**	**0**	**188**	**-**	**-**	**2,318**
	学外への依頼（国内） Received(Domestic)	3,088	3,361	256	221	1,606	-	-	8,532
	学外への依頼（国外） Received(International)	32	12	5	0	2	-	-	51
	合　計 Total	**3,120**	**3,373**	**261**	**221**	**1,608**	**-**	**-**	**8,583**
	（うち謝絶） (cancel)	**638**	**65**	**42**	**5**	**351**	**-**	**-**	**1,101**
	NDL閲覧 Browse(NDL)	132	-	-	-	38	-	-	170
	NDL複写 Copies(NDL)	276	-	-	-	34	-	-	310
	合　計 Total	**408**	**-**	**-**	**-**	**72**	**-**	**-**	**480**
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) （件）	学外からの受付（国内） Borrows(Domestic)	1,289	19	159	13	618	-	-	2,098
	学外からの受付（国外） Borrows(International)	21	0	3	0	0	-	-	24
	合　計 Total	**1,310**	**19**	**162**	**13**	**618**	**-**	**-**	**2,122**
	（うち謝絶） (cancel)	**292**	**2**	**22**	**0**	**127**	**-**	**-**	**443**
	学外への依頼（国内） Loans(Domestic)	807	34	100	17	369	-	-	1,327
	学外への依頼（国外） Loans(International)	6	0	0	0	0	-	-	6
	合　計 Total	**813**	**34**	**100**	**17**	**369**	**-**	**-**	**1,333**
	（うち謝絶） (cancel)	**165**	**0**	**5**	**0**	**62**	**-**	**-**	**232**
レファレンス件数 Reference inquiries （件）	教職員 Faculties	163	481	73	363	321	0	151	1,552
	学　生 Students	1,378	1,118	209	70	3,199	1,000	2,265	9,239
	学外者 Others	301	341	30	23	192	0	604	1,491
	合　計 Total	**1,842**	**1,940**	**312**	**456**	**3,712**	**1,000**	**3,020**	**12,282**
	所在調査 Holdings	477	65	71	67	842	36	2,416	3,974
	事項調査 Topics	122	18	45	357	121	0	151	814
	利用指導･その他 Instructions /Others	1,243	1,857	196	32	2,749	964	453	7,494
	合　計 Total	**1,842**	**1,940**	**312**	**456**	**3,712**	**1,000**	**3,020**	**12,282**

※文献複写･相互貸借件数には謝絶も含む
※NDLは､国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」を示す

■電子ジャーナルの利用（主要パッケージのフルテキストダウンロード数）

E-Journals　　Full-text downloads in major e-Journal packages　　2015.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	239,618	JSTOR Arts & Sciences Ⅰ, Ⅱ	13,628
American Institute of Physics (AIP)	48,386	Nature Site License	205,853
American Physical Society (APS)	30,879	ProQuest Central	33,065
CiNii※	151,542	Science online	43,597
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	1,086,601	SpringerLink	164,881
IEEE POP	9,635	Wiley Online Library	292,195
		合計 Total	2,319,880

※国内誌

■情報検索サービスの利用

Databases　　2015.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
ディスカバリサービス Discovery services	世界の文献	ディスカバリ（グローバル）	618,188	-
	九大コレクション	ディスカバリ（ローカル）	2,079,780	-
文献情報 Abstracts & index databases	CiNii	全分野（国内）	325,380	89,008
	Web of Science	全分野	237,050	84,150
	SciFinder	化学	202,888	39,610
	Scopus	全分野	194,443	103,056
	医中誌Web	医学（国内）	155,546	53,096
	Business Source Complete (EBSCOhost)	経済・経営学	5,609	3,696
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	4,098	2,273
	PsycINFO (Ovid)	心理学	2,810	805
	EBM Reviews (Ovid)	医学	2,596	1,178
	MEDLINE (Ovid)	医学	2,033	598
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	1,596	336
	ERIC (Ovid)	教育学	218	97
事典類 References	JapanKnowledge	（国内）	118,377	15,043
	Gale Virtual Reference Library		85	501
	理科年表プレミアム	（国内）	-	212
	化学書資料館	（国内）	-	15,769
	研究社オンライン・ディクショナリー		-	746
新聞 Newspaper articles	聞蔵II ビジュアル for Libraries	朝日新聞など	-	7,174
	西日本新聞記事データベース「パピルス」	西日本新聞記事	6,218	-
	毎日新聞社データベース「毎索」	毎日新聞記事	5,866	1,636
	ヨミダス歴史館	読売新聞など	7,081	-
その他 Others	Journal Citation Reports [JCR]	インパクトファクター	5,460	7,203
	RefWorks	文献管理	-	4,376
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	558,499	-
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	71,159	-
	マイページ	図書館ポータル	-	148,626

■学内配送サービスの利用（図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数）

Inter-campus book delivery　　平成27(2015)年度

から from ＼ へ to	中央図書館 Central Lib.	文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	計 Total
中央図書館 Central Lib.		3,670	752	2,021	838	7,731	322	15,334
文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.	5,508		167	605	89	2,602	93	9,064
医学図書館 Medical Lib.	998	142		169	163	832	31	2,335
芸術工学図書館 Design Lib.	2,193	516	166		212	1,543	120	4,750
筑紫図書館 Chikushi Lib.	913	120	160	219		1,105	32	2,549
伊都図書館 Ito Lib.	6,870	2,285	711	1,466	1,052		271	12,655
嚶鳴天空広場 Q-Commons	424	118	31	113	42	3,090		3,818
計 Total	16,906	6,851	1,987	4,593	2,396	16,903	869	50,505

統計 =基盤サービス= Statistics

■図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

平成27〈2015〉年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館	中央図書館 Central Library	13,559	1,635	15,194	1,263	117	1,380
	農学研究院 Faculty of Agriculture	1,185	1,458	2,643	667	373	1,040
	小計 Central Library Total	14,744	3,093	17,837	1,930	490	2,420
医学図書館	医学図書館 Medical Library	990	924	1,914	554	273	827
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	212	64	276	21	7	28
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	1	0	1	16	17	33
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	0	4	4	2	0	2
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	0	0	0	0	0
	病院(医・歯) University Hospital	55	70	125	76	73	149
	小計 Medical Library Total	1,258	1,062	2,320	669	370	1,039
芸術工学図書館 Design Library		2,354	192	2,546	444	87	531
筑紫図書館	筑紫図書館 Chikushi Library	675	109	784	235	29	264
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	2	4	6	13	0	13
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	15	4	19
	先導物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	0	1	1	1	0	1
	小計 Chikushi Library Total	677	114	791	264	33	297
伊都図書館	伊都図書館 Ito Library	8,061	9,582	17,643	509	27	536
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	1,188	369	1,557	187	62	249
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	795	484	1,279	19	42	61
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	245	863	1,108	34	433	467
	理学研究院 Faculty of Science	179	1,177	1,356	113	84	197
	工学研究院 Faculty of Engineering	177	366	543	167	150	317
	システム情報科学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	102	55	157	41	19	60
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	273	72	345	16	4	20
	小計 Ito Library Total	11,020	12,968	23,988	1,086	821	1,907
文系合同図書室	文学部 School of Letters	5,305	2,446	7,751	2,494	262	2,756
	教育学部 School of Education	873	184	1,057	648	80	728
	法学研究院 Faculty of Law	4,795	2,550	7,345	677	282	959
	経済学研究院 Faculty of Economics	1,268	664	1,932	593	213	806
	人環　都市・建築学部門 Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design	331	187	518	29	15	44
	小計 Humanities and Socialsciences Library Total	12,572	6,031	18,603	4,441	852	5,293
別府病院 Beppu Hospital		0	0	0	28	6	34
記録資料館 Manuscript Library		449	3	452	394	3	397
合計 Total		43,074	23,463	66,537	9,256	2,662	11,918

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附置研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。
(注2) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所は、伊都図書館の項目に計上している。
(注3) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

■資料費 Expenditures for library materials

平成27〈2015〉年度
(単位:千円／thousand yen)

	図書費 Books	雑誌・新聞費 Serials	eリソース Elelctronic resources	その他 Others	資料費総額 Total
中央図書館 Central Library	41,267	51,100	548,670	18,175	659,210
医学図書館 Medical Library	20,091	17,467	15,033	798	53,390
芸術工学図書館 Design Library	14,499	7,014	168	1,644	23,326
筑紫図書館 Chikushi Library	9,914	3,061	66	29	13,070
伊都図書館 Ito Library	118,101	79,987	11,706	1,491	211,285
文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.	101,256	41,888	28,633	6,198	177,975
別府病院 Beppu Hospital	0	35	168	0	203
記録資料館 Manuscript Library	1,755	136	0	160	2,051
合計 Total	306,884	200,687	604,444	28,494	1,140,510

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。
(注2) eリソースにはEJ、DB、その他電子ツールを含む。
(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む。
(注4) 情報基盤研究開発センターは中央図書館に計上。

■電子ブック・電子ジャーナル E-Books and E-Journals

平成28〈2016〉年5月1日現在

アクセス可能な電子ブック(無料タイトル含む) Accessible e-books (including free titles)	純タイトル数 Unique titles	111,807
アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む) Accessible e-Journals (including free titles)	純タイトル数 Unique titles	87,150

契約タイトル数 Licensed e-Journals

平成28〈2016〉年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	50	JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	384
American Institute of Physics (AIP)	12	KISS: 人文・社会・語文・芸術・体育雑誌	1,288
American Physical Society (APS)	9	LexisNexis: Academic & lexis.com	10,346
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	27	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	25
Association for Computing Machinery: ACM Portal	1,144	Medical Online Library (MOL) *	1,357
Cambridge University Press	36	Nature Publishing Group	34
Cell Press	11	OECD iLibrary	202
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	Oxford University Press	43
CiNii *	596	ProQuest Central	17,369
CNKI: 中国学術雑誌(CAJ)	4,051	Science (AAAS)	3
DBpia: 人文社会系パッケージ	1,212	SpringerLink	1,640
EBSCOhost: Business Source Complete	21,438	Taylor & Francis	118
EBSCOhost: EconLit with Full Text	694	UniBio Press *	7
Elsevier ScienceDirect	2,327	University of Chicago Press	10
IEEE: ASPP Online, POP Online	301	Wiley Online Library	1,411
IEICE *	8	World Scientific Publishing	14
Institute of Physics (IOP)	12	日本物理学会(JPS) *	1
Journals@Ovid	7	その他	517
		合計 Total	66,706

※国内誌

■蔵書数 Holdings

平成28〈2016〉年3月31日現在

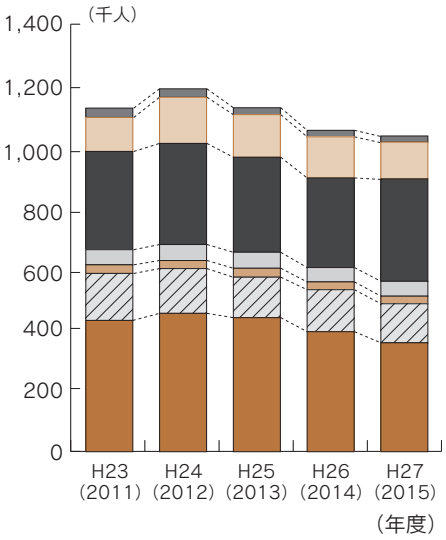
	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	571,296	243,182	814,478	16,378	6,475	22,853
医学図書館 Medical Library	145,284	196,925	342,209	2,864	7,220	10,084
芸術工学図書館 Design Library	132,144	51,970	184,114	2,092	992	3,084
筑紫図書館 Chikushi Library	68,296	79,153	147,449	1,511	1,194	2,705
伊都図書館 Ito Library	588,495	618,547	1,207,042	10,625	13,518	24,143
文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.	875,066	638,786	1,513,852	18,424	8,772	27,196
別府病院 Beppu Hospital	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館 Manuscript Library	56,236	4,342	60,578	1,679	54	1,733
合計 Total	2,443,510	1,846,396	4,289,906	53,865	38,572	92,437

(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

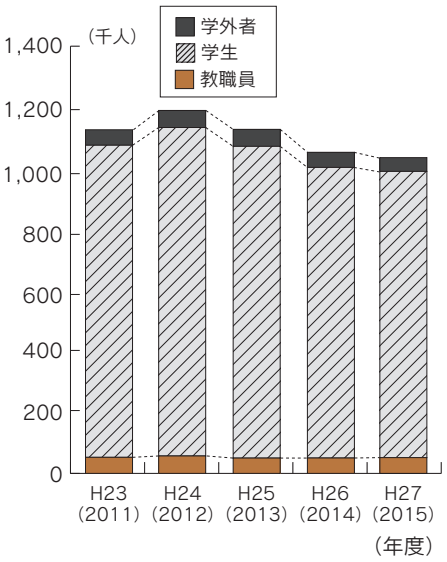
統計 =推移と分析= Statistics

■利用サービスの推移

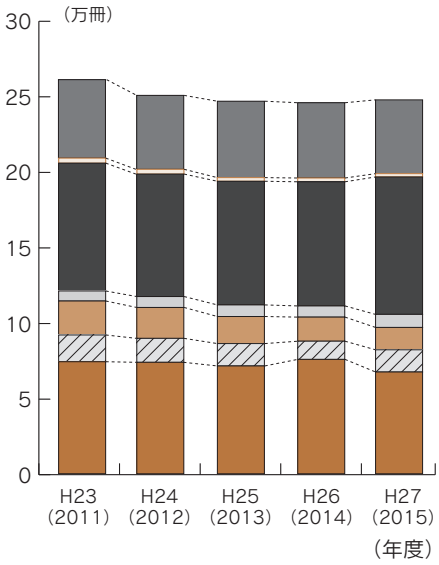
入館者数



身分別入館者数



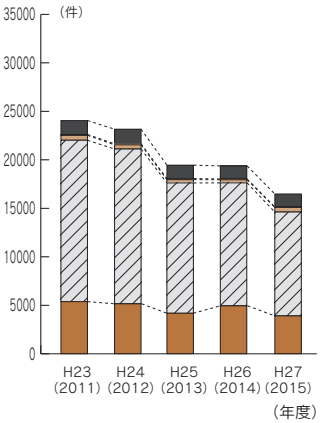
貸出冊数



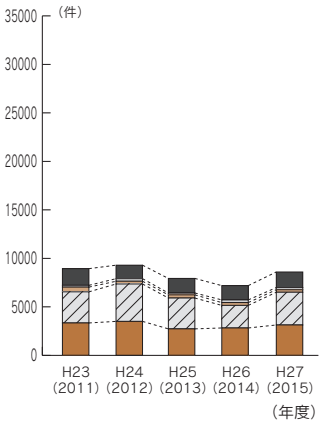
入館者数については、全体として前年度並みとなりました。身分別入館者数のグラフでも、前年度に比べて教職員、学生の数はほぼ横ばいです。伊都図書館で入館者数が前年度に比べて約14%増加しているのは、10月に理学系部局が伊都キャンパスに移転し、中央図書館の利用者が伊都図書館にシフトしたこと、また伊都キャンパス全体の整備により、センターゾーンから伊都図書館までの動線が整ったことに起因すると考えられます。医学図書館の入館者数が、前年度比約7%減少しているのは、病院地区研究棟の改修工事完了により、図書館外の学生用自習室が充実したからだと考えられます。

貸出冊数は、例年と比較し、おおむね横ばいとなっています。理学系部局の伊都キャンパス移転により、中央図書館が約11%の減少、伊都図書館が約11%増加となっています。入館者数が減少した医学図書館でも、貸出冊数は前年度に比べて増加しました。

文献複写件数【受付】



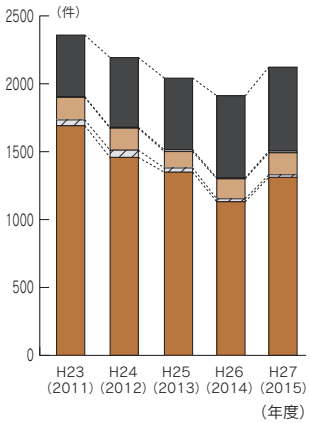
文献複写件数【依頼】



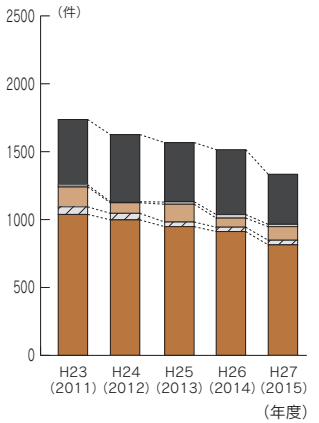
受付(学外機関/学内利用者・個人への文献コピーの提供)は、全体として減少が続いていますが、芸術工学図書館は前年度比約48%の増加に転じました。

依頼(学外機関からの文献コピーの取寄せ)は、前年度と比較し、全体で約20%の増加となりました。各館別では、中央図書館が約10%、伊都図書館が約9%、医学図書館が約45%の増加となりました。

相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】

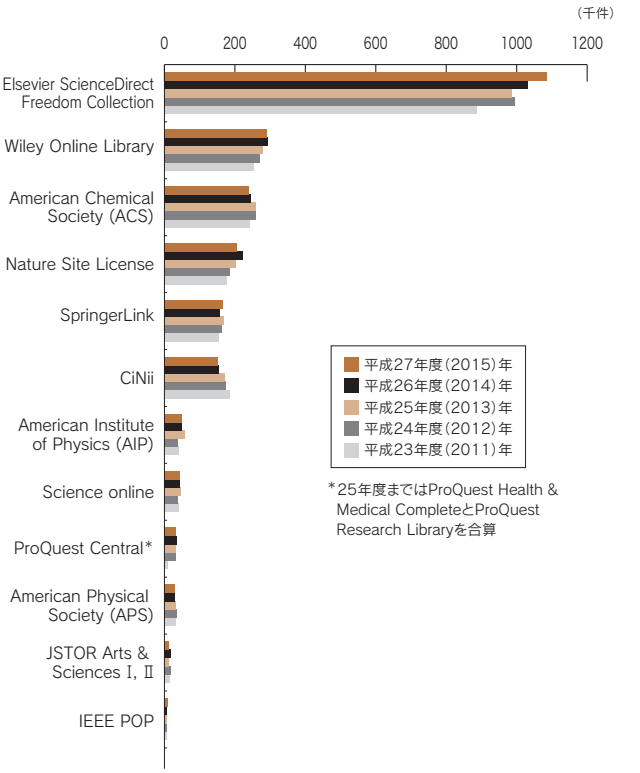


受付(学外機関への図書の貸出)は、前年度と比較し、全体で約11%の増加となりました。各館別では、中央図書館が約16%、伊都図書館が微増、芸術工学図書館が約10%、筑紫図書館が約2倍の増加となりました。

依頼(学外機関からの図書の借受)は、全体として減少が続いてますが、前年度と比較し、医学図書館で微増、芸術工学図書館は約50%の増加に転じました。

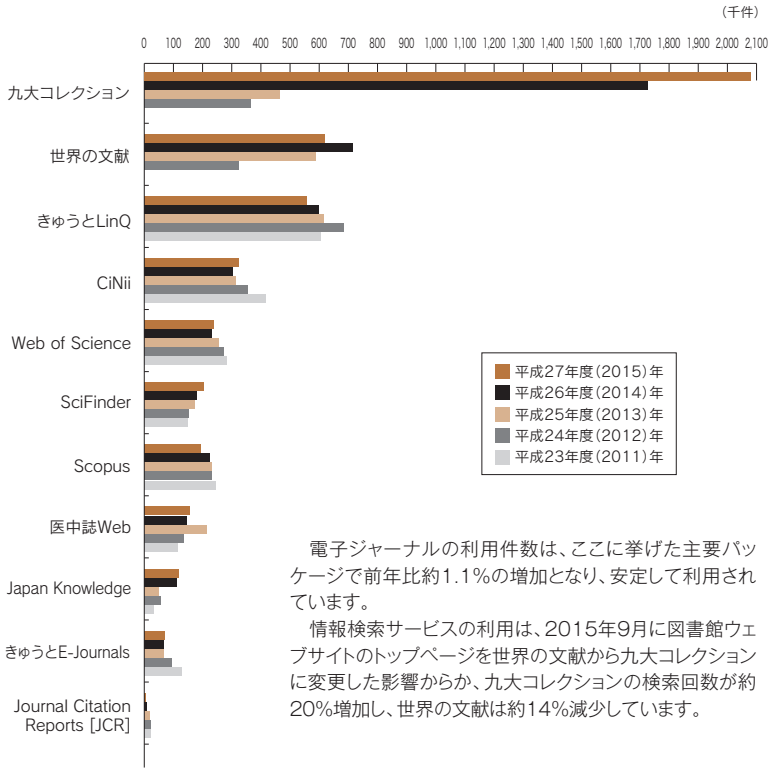
■電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

電子ジャーナルの利用　主要パッケージの利用件数



*25年度まではProQuest Health & Medical CompleteとProQuest Research Libraryを合算

情報検索サービスの利用　主要データベースの検索回数

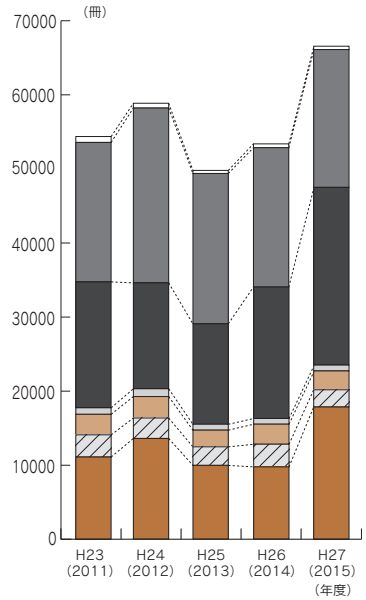


電子ジャーナルの利用件数は、ここに挙げた主要パッケージで前年比約1.1%の増加となり、安定して利用されています。

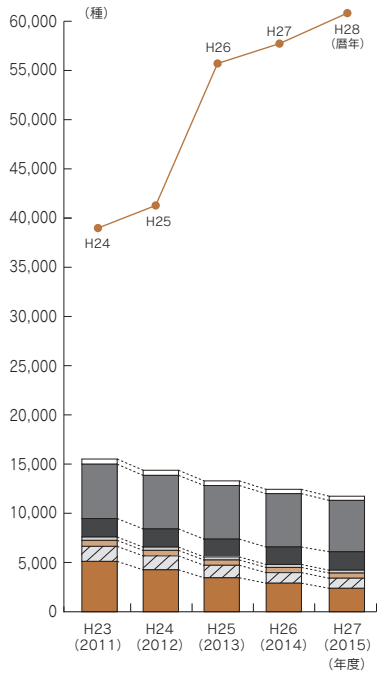
情報検索サービスの利用は、2015年9月に図書館ウェブサイトのトップページを世界の文献から九大コレクションに変更した影響からか、九大コレクションの検索回数が約20%増加し、世界の文献は約14%減少しています。

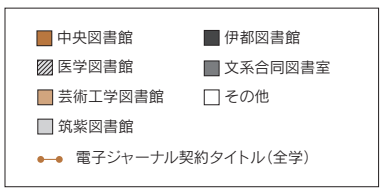
■資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数



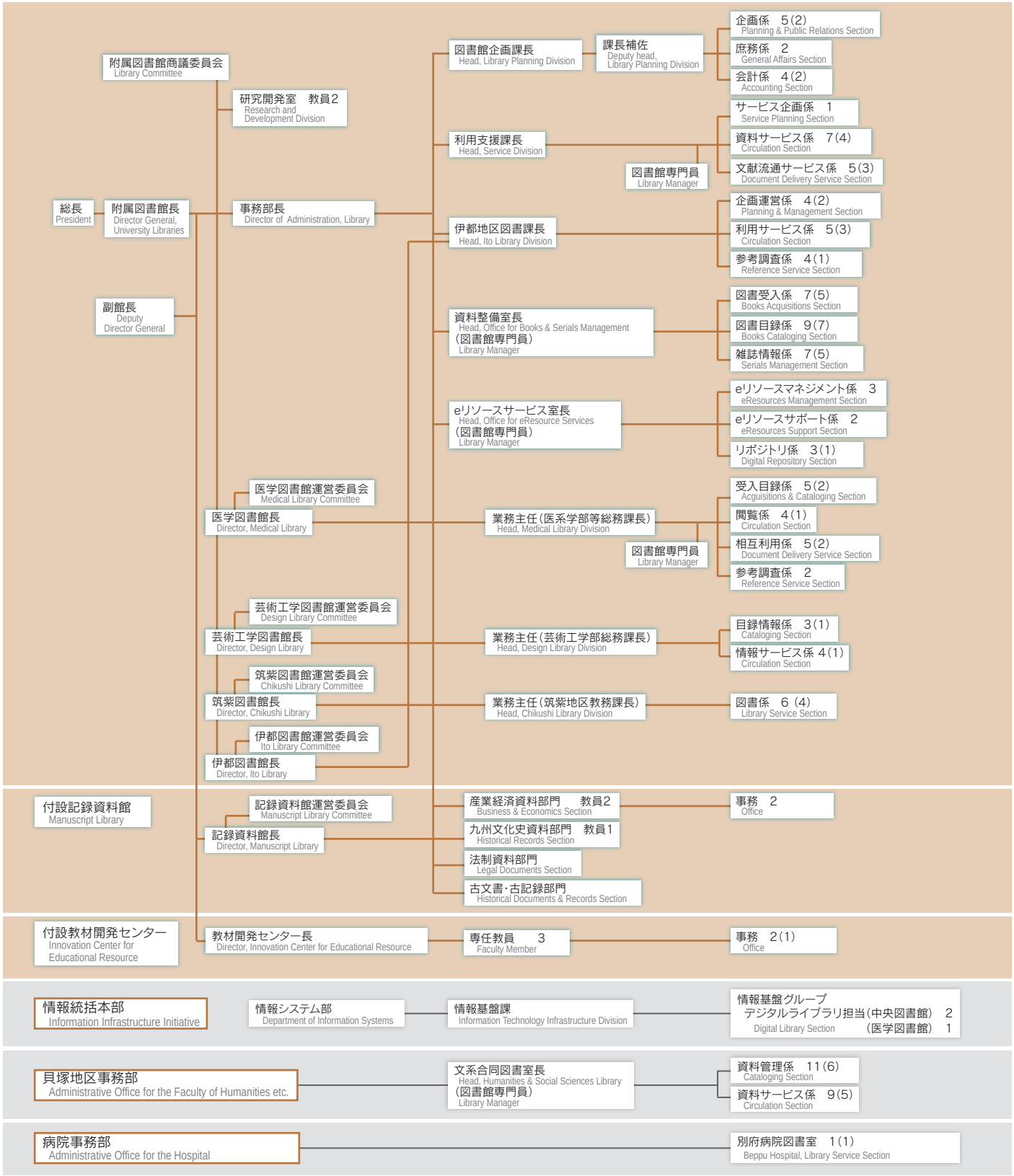


図書については、ここ数年安定した受入冊数となっていましたが、27年度は、資料移転に伴い未製本雑誌を多数製本受入したことなどにより、中央図書館および伊都図書館の受入冊数が大幅に増えています。

紙媒体の雑誌受入数については、電子ジャーナルの契約タイトル数の増加のほか、寄贈受入タイトルの見直しなどにより、全学的な減少傾向が続いています。

附属図書館の組織 Organization

（平成28年4月1日現在）



区　分	教授	准教授	講師	助教	合計
教員数	2	4	0	3	9

※ 専任教員のみ。

区　分	事務部長	課　長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合　計
職員数	1	3	1	6	23	100 (60)	134

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。( ) 内は事務補佐員で内数。

附属図書館長・副館長・分館長等

平成28年4月1日現在

附属図書館長	宮本　一夫（副学長）	伊都図書館長	荒木啓二郎（システム情報科学研究院　教授）
副館長	冨浦　洋一（システム情報科学研究院　教授）	記録資料館長	佐伯　弘次（人文科学研究院　教授）
医学図書館長	前原　喜彦（医学研究院　教授）	教材開発センター長	岡田　義広（教材開発センター　教授）
芸術工学図書館長	脇山　真治（芸術工学研究院　教授）	事務部長	木村　優
筑紫図書館長	松永　信博（総合理工学研究院　教授）		

附属図書館商議委員会

平成28年4月1日現在

■委員長

宮本　一夫（副学長、附属図書館長）

■委　員

冨浦　洋一（副館長）
前原　喜彦（医学図書館長）
脇山　真治（芸術工学図書館長）
松永　信博（筑紫図書館長）
荒木啓二郎（伊都図書館長）
佐伯　弘次（記録資料館長）
岡田　義広（教材開発センター長）
谷口倫一郎（情報基盤研究開発センター長）
渡邊公一郎（留学生センター長）
高山　倫明（人文科学研究院　教授）
東　英寿（比較社会文化研究院　教授）
野々村淑子（人間環境学研究院　教授）
木村　俊道（法学研究院　教授）
久野　国夫（経済学研究院　教授）
中里見　敬（言語文化研究院　教授）
中西　秀（理学研究院　教授）
廣島　文生（数理学研究院　教授）
笹栗　俊之（医学研究院　教授）
清島　保（歯学研究院　教授）
片山　勉（薬学研究院　教授）
吉川　孝男（工学研究院　教授）
笹渕　祥一（芸術工学研究院　教授）
瀧本　英二（システム情報科学研究院　教授）
渡辺　幸信（総合理工学研究院　教授）
矢部　光保（農学研究院　教授）
福田　千鶴（基幹教育院　教授）
山﨑　晶（生体防御医学研究所　教授）
磯辺　篤彦（応用力学研究所　教授）
佐藤　治（先導物質化学研究所　教授）
手塚　集（マス・フォア・インダストリ研究所　教授）
木村　優（附属図書館事務部長）

所属する図書館関係団体と九大図書館の役割

附属図書館	国立大学図書館協会　理事館（全国の国立大学図書館　会員館数：91） 九州地区国立大学図書館協会　代表館（九州地区の国立大学図書館　加盟館：11） 九州地区大学図書館協議会　幹事館（九州地区の国公私立大学図書館　加盟館：78） 福岡県図書館協会　理事：館長（福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館） 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡県・佐賀県内の国公私立大学図書館　加盟館：43）
医学図書館	日本医学図書館協会　評議員館（全国の医学系大学図書館および病院図書館・図書室） 九州地区医学図書館協議会（九州地区の医学系大学図書館）

人事異動 Personnel Reshuffle

（平成27年4月1日~28年3月31日）

■学外へ転出

		異動後	異動前
4/1	羽賀真記子	九州工業大学	資)図書目録係
〃	香川　朋子	お茶の水女子大学	文)資料管理係員
〃	大谷　周平	琉球大学	文)資料サービス係員
8/1	馬場　謙介	富士通研究所	研究開発室准教授

■中央図書館

4/1	岡田　義広	付設教材開発センター長	
〃	印藤　憲一	芸術工学部総務課課長補佐	図書館企画課課長補佐
〃	藤川　眞一	図書館企画課課長補佐	久留米工業高等専門学校総務課課長補佐(財務担当)
〃	河鍋　浩明	企)庶務係長	情報システム部情報企画課専門職員
〃	萩原　泰子	資)図書目録係	信州大学工学部図書館
〃	西　真里恵	資)雑誌情報係	(採用)
〃	井上　修孝	利)資料サービス係(有期事務職員)	(採用)
〃	中村シヅ江	企)会計係事務補佐員	(採用)
〃	渡邉　倫子	利)文献流通サービス係事務補佐員	(採用)
4/16	小島　凜	企)会計係事務補佐員	(採用)
4/30	熊谷　由紀	(退職)	e)eリソースマネジメント係(有期事務職員)
〃	秋吉百合子	(退職)	企)会計係事務補佐員
〃	吉武　幸子	(退職)	資)図書目録係事務補佐員
5/1	荻原　昭子	e)eリソースマネジメント係(有期事務職員)	(採用)
〃	兒玉　千春	資)図書受入係事務補佐員	(採用)
〃	木下　久江	資)雑誌情報係事務補佐員	(採用)
5/31	柴田　照代	(退職)	企)会計係事務補佐員
6/1	上村　香	資)図書目録係事務補佐員	(採用)
〃	木下　博貴	資)図書目録係事務補佐員	(採用)
6/27	宮尾由美子	(育児休業)	利)資料サービス係長
6/30	西尾　香	(退職)	企)企画係事務補佐員
7/1	上野　敦子	付設教材開発センターテクニカルスタッフ	(採用)
〃	森　淳也	付設教材開発センターテクニカルスタッフ	(採用)
7/31	越戸　陽子	(育児休業)	e)eリソースマネジメント係
8/1	畑埜　晃平	研究開発室准教授	(採用)
〃	簾　博明	企)企画係事務補佐員	(採用)
8/24	牛島由美子	(退職)	付設教材開発センター事務補佐員
10/1	井上　和泉	付設教材開発センター事務補佐員	(採用)
10/31	木下　博貴	(退職)	資)図書目録係事務補佐員
〃	栃原　幸恵	(退職)	付設教材開発センターテクニカルスタッフ
12/1	船越　陽子	資)図書目録係事務補佐員	(採用)
1/15	谷　美代子	(退職)	資)図書目録係事務補佐員
1/16	土肥　純子	資)図書目録係事務補佐員	(採用)
3/31	吉田　素文	(退任)	副館長
〃	益森　治巳	(定年退職)	事務部長
〃	野田　達也	(定年退職)	企)会計係長
〃	中園　沙貴	(退職)	付設教材開発センターテクニカルスタッフ
〃	井上　和泉	(退職)	付設教材開発センター事務補佐員

■医学図書館

4/1	前原　喜彦	医学図書館長	
〃	河上　章彦	受入目録係長	相互利用係長(兼参考調査係長)
〃	高田　宏昭	相互利用係長(兼参考調査係長)	資)雑誌情報係長
〃	髙原　秀典	相互利用係(特定有期事務職員)	(採用)
〃	岩下　夏帆	参考調査係	(採用)
〃	塩田　麻実	閲覧係(特定有期代替事務職員)	(採用)
6/29	髙野美保子	(退職)	受入目録係事務補佐員
7/1	大野　和呼	受入目録係事務補佐員	(職場復帰)

■芸術工学図書館

4/1	森永　泰弘	業務主任	
〃	竹内嘉与子	目録情報係	(採用)
〃	泉　愛	情報サービス係	(採用)
9/30	佐藤　優	(退任)	芸術工学図書館長
10/1	脇山　真治	芸術工学図書館長	
3/31	田中紗貴子	(退職)	情報サービス係事務補佐員

■筑紫図書館

4/1	濱野　繁文	工学部等事務部総務課長	業務主任
〃	伊香賀　治	業務主任	福岡教育大学学生支援課長
3/31	笹田　一郎	(退任)	筑紫図書館長

■伊都図書館

3/31	近藤ゆかり	(退職)	企画運営係事務補佐員

■記録資料館　産業経済資料部門

4/1	川波　洋一	記録資料館長	
	張　暁紅	助教	(採用)
3/31	川波　洋一	(退任)	記録資料館長
	張　暁紅	(退職)	助教

■文系合同図書室

4/1	山口　良子	図書館専門員　兼)文系合同図書室長	文)資料管理係長
〃	宮岡　大輔	文)資料管理係長	文)資料サービス係長
〃	大谷　荘平	文)資料管理係事務補佐員	(採用)
〃	大山　智美	文)資料管理係事務補佐員	(採用)
〃	児玉　浩憲	文)資料サービス係長	芸)情報サービス係長
〃	黒木　卓也	文)資料サービス係	琉球大学
〃	諸岡　静児	文)資料サービス係(特定有期事務職員)	(採用)
〃	川原　由佳	文)資料サービス係事務補佐員	(採用)
〃	中島　和	文)資料サービス係事務補佐員	(採用)
10/1	諸岡　静児	貝塚地区総務課(建築学科図書室)	文)資料サービス係
11/1	木下　博貴	文)資料サービス係	(採用)
3/31	本園由美子	(定年退職)	文)資料管理係
〃	松本　晴美	(退職)	文)資料サービス係事務補佐員
〃	稲員菜穂子	(退職)	文)資料サービス係事務補佐員

企)図書館企画課
利)利用支援課
資)資料整備室
e)eリソースサービス室
医)医学図書館
芸)芸術工学図書館
筑)筑紫図書館
文)文系合同図書室
伊)伊都図書館

出版物/貴重資料の学外展示・掲載・放映 Publications/Rare-Book-Provision to the public

出版物

●附属図書館発行

『九州大学附属図書館年報2014/2015』(2015.6)
『九州大学附属図書館研究開発室年報2014/2015』(2015.8)
『きゅうとNEWSLETTER Vol.10』No.1(2015.4), No.2(2015.7), No.3(2015.10), No.4(2016.1)

●付設記録資料館発行

『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター Vol.10』(2016.3)

●付設記録資料館産業経済資料部門発行

『石炭研究資料叢書 No.37』(2016.3) 『エネルギー史研究 No.31』(2016.3)

●付設記録資料館九州文化史資料部門発行

『九州文化史研究所紀要』59号(2016.3)

●付設教材開発センター発行

『九州大学附属図書館付設教材開発センターだより』
No.14(2015.4), No.15(2015.6), No.16(2015.8), No.17(2015.10), No.18(2015.12), No.19(2016.2)

貴重書の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
「奉天省輯安古跡高句麗王碑文」(広開土王碑拓本)	中央図書館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(H27.4.1～H28.3.31)	九州国立博物館
高島炭鉱模型	記録資料館(産業経済)	長崎市総務局世界遺産部門展示(H27.5.1から1年間)	長崎市総務局世界遺産部門
「本多正信添状」(堀文書)	記録資料館(九州文化史)	大阪冬の陣400年記念特別展「豊臣と徳川」(H27.3.21～5.10)	大阪城天守閣
「シーボルトより本国へ送る書翰和解」「〔英艦水夫酩酊暴行一件〕」「倉田氏日記」「肥前長崎図」(松木文庫)「書翰」(元山文庫)	記録資料館(九州文化史)	特別展「坂本龍馬―幕末洋学の系譜―」(H27.9.11～11.8)	シーボルト記念館
広岡潤野炭鉱事務所の炭鉱札	記録資料館(産業経済)	企画展「広岡浅子と明治時代の筑豊炭鉱」(H27.9.18～12.8)	飯塚市歴史資料館
「蒙古襲来絵詞」	中央図書館	秋季特別展「玄界灘の波濤を越えて」(H27.10.6～H27.11.23)	伊都国歴史博物館
伏見版「吾妻鏡」(樋口文庫)	中央図書館	日本遺産認定記念「ほとけの里と相良の名宝―人吉球磨の歴史と美―」(H27.10.14～H27.11.29)	熊本県立美術館
麻生家文書	記録資料館(産業経済)	「戦後復興への道のり―吉田茂・鳩山一郎―」(H27.11.4～11.27)	衆議院憲政記念館
「道中日記」(檜垣文庫)	記録資料館	企画展「タイムトラベル 武雄温泉」(H27.10.22～H27.11.29)	武雄市図書館・歴史資料館
「The Far East」「外国人居留場図絵」(元山文庫)「長崎居留場全図」(森文庫)	記録資料館(九州文化史)	企画展「幕末長崎古写真館～ボードイン・コレクションから～」(H27.12.12～H28.1.24)	長崎歴史文化博物館
「背振山堺図」(廣瀬文庫)	中央図書館	特別展「国境の山岳信仰―背振山系の聖地・霊場を巡る―」(H28.1.30～H28.3.13)	伊都国歴史博物館
「朝鮮古蹟図譜」「古跡調査特別報告」	中央図書館	「小川敬吉資料展―朝鮮総督府の文化財調査官が遺したもの―」(H28.1.29～H28.3.21)	名護屋城博物館
『観古図説』(江藤正澄関係資料)	中央図書館	特別展覧会「物・語―近代日本の静物画―」(H28.5.14～H28.7.3 予定)	福岡市美術館

貴重書の出版物への掲載・TV等での放映(一部)

●出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
「河津伝記」(廣瀬文庫) 「令金譲状写」(檜垣文庫)	中央図書館 記録資料館	『山口市史』史料編中世(山口市 2016.3刊行予定)
「西遊旅譚」(桑木文庫) 「日本山海名物図会」(廣瀬文庫) 「除蝗録」(農学教室旧蔵)	中央図書館	『鯨取りの社会史：シーボルトや江戸の学者たちが調べた日本捕鯨』(花乱社 2016.2刊行予定)
「御国絵図」(廣瀬文庫)	中央図書館	「「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界文化遺産推薦に係る推薦書」付属資料(「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議、2016.2.1ユネスコへ提出)
平仮名絵入本「太平記」(廣瀬文庫)	中央図書館	「黄表紙『新田義貞一代記』について(下)」(『叢：草双紙の翻刻と研究』37 2016.2)
「蒙古襲来絵詞」	中央図書館	『元と高麗の侵攻』(長崎文献社 2016.11)ほか
[神道或問]「瀧川翁自従抄講義」(碩水文庫)	中央図書館	『垂加神道本公刊資料集』二(神道資料叢刊13 皇学館大学神道研究所 2016.3)
「伊呂波字類抄」(音無文庫)	中央図書館	『『色葉字類抄』の研究』(勉誠出版 2016.2)
「葵花集」「聞書和歌ノ事古今詩歌」(細川文庫)	中央図書館	『古今伝授の周辺』(おうふう 2016.10刊行予定)
奈良絵本「伊勢物語」(支子文庫)	中央図書館	『学問からの挑戦』(高校生のため東大授業ライブ6 東京大学教養学部 2015.10)
「軽口はなし」(支子文庫)	中央図書館	「都の錦と噺本：舌耕者としての一側面」(『雅俗』13 2014.7)
「刀筆青砥石文鑑水蔵語」(読本コレクション)	中央図書館	『文政期読本の基礎的研究』(科研費報告書 西日本近世小説研究会 2016.2)
「眼前教近道」「都風俗化粧伝」「千代の袖」(雅俗文庫)	中央図書館	「鼎談 教養の射程―日本文化の展開と書物」(『書物学』第5号 勉誠出版 2015.7)
「大津絵 鬼に鷹匠」「西村定雅笠図賛」谷文晁「松島真景図」同「金山菜品」(雅俗文庫)	中央図書館	『雅俗小径：中野三敏先生傘寿記念文集』(中野三敏先生傘寿記念文集刊行会 2015.12)
「大津絵 鬼に鷹匠」(雅俗文庫)	中央図書館	『九州大学文学部同窓会会報』59(2016.3)
「上方摺物貼込帖」(雅俗文庫)	中央図書館	「近世のサブカルチャー：一枚摺と茶の湯④」(『月刊遠州』598 2016.2)
「芭蕉翁絵詞伝」(雅俗文庫)	中央図書館	『文献探究』54(2016.3刊行予定)
「故闕特勤碑」	中央図書館	「九州大学突厥碑文拓本調査報告」(『遼金西夏史研究会NewsLetter』8 2016.3)
濱文庫戯単	中央図書館	「濱一衛の北平留学と上演史研究の成立」(日本中国学会第67回大会 2015.10) 「濱一衛の見た一九三〇年代中国芸能：開封・呉興」(『九州中国学会報』54 2016.5刊行予定) 「濱一衛看到的1930年代中国戯劇一一個開拓表演史研究的日本学者」(『中国戯劇史国際学術研討会論文集』2016.5発行予定)
「天然紀念物と老樹名木」	中央図書館	『記念植樹と日本近代：林学者本多静六の思想と事績』(思文閣出版 2016.3刊行予定)
ヴェスリング『解剖学の体系』(杏仁醫館文庫)	医学図書館	『近代医学の基礎を築いた人々』(映像で見る人権の歴史3 東映教育映像部 2015.7)
『ヒポクラテス全集』(眼科教室旧蔵)	医学図書館	『衛生学・公衆衛生学』改訂第6版(南江堂 2015.12)
「小川嶋鯨鯢合戦」	芸術工学図書館	『唐津市重要文化財旧中尾家住宅保存修理工事報告書』(本文編 唐津市教育委員会 2015.11)
古活字版「源氏物語」	文系合同(文)	「源氏物語の伝来と享受の研究」(武蔵野書院 2016.2)
「浄瑠璃絵尽集」	文系合同(文)	「『津国女夫池』寛保二年の上演：第四の節事「新御殿ねみだれ髪」の舞台について」(『京都語文』22 2015.11)
「塵塚物語」(旧松浦家蔵草双紙)	文系合同(文)	『塵塚物語』(太平書屋 2015.9)
「江戸紫浪花飛梅」(旧松浦家蔵草双紙)	文系合同(文)	『日本奇術文化史』(日本奇術協会 2016.3刊行予定)
「林屋正蔵咄本」(旧松浦家蔵草双紙)	文系合同(文)	「九州大学図書館蔵〔林屋正蔵咄本〕改め「忠臣蔵道化縁起」」(『文献探究』54 2016.3刊行予定)
仙厓絵画	文系合同(文)	『日本おとぼけ絵画史：たのしい日本美術』(講談社 2016.3)ほか
「玄界庵日記」(在山楼文庫)	文系合同(文)	「韓国開化期の日本語教育に関する研究」(麗澤大学大学院博士学位論文 2016.3)
「貞和六年四月二十一日足利直冬下文」(来島文書)	文系合同(文)	『飯塚市史』上巻第三編中世(飯塚市 2016.3)
改正地券「御改沽券状」「福岡御領三坂村と雷村と中津御領飯原村と長野村と之御境目杭江之方位間数立会改帳」(以上法制史料)「図面一字区界細密ニ写取タル図」(法制史料福岡県文書)「田税新法」	文系合同(法)(経)	「福岡県の土地台帳とその沿革」(福岡県土地家屋調査会平成27年度第2回全体研修会発表 2015.10.29)
「銅山図録」	文系合同(経)	『鼓銅図録の研究―書誌と系譜―』(住友史料館報別冊 住友史料館 2015.6)
「天草島高浜村海辺地勢要図」(檜垣文庫)	記録資料館	『近世の村と地域情報』(吉川弘文館 2016.3)
「海瀬舟行日記」「瀬戸内海図」(長沼文庫)	記録資料館(九州文化史)	『屋島名勝調査報告書』(高松市・京都府公立大学法人 2016.3刊行予定)
「福岡城下・博多・近隣古図」(三奈木黒田家文書)「吉田家伝録」(吉田文書)	記録資料館(九州文化史)	『福岡藩』(シリーズ藩物語 現代書館 2015.6)
「福岡城下・博多・近隣古図」(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	『福岡路上遺産：身近に残る歴史の痕跡』(海鳥社 2016.1)
「三池港税関前より船渠を望む」(炭鉱絵葉書)	記録資料館(産業経済)	「三井三池炭鉱跡宮原坑跡・万田坑跡・専用鉄道敷跡の追加指定及び名称変更について(意見具申)」(大牟田市教育委員会)

●TV等での放映

資料名	所蔵館	放送番組
「蒙古襲来絵詞」	中央図書館	「フビライと神風～モンゴル襲来の跡を訪ねて」(モンゴル教養科学記録ドキュメンタリー製作協会制作 2015.7.9～11)ほか
「日本山海名物図会」(廣瀬文庫)	中央図書館	「ザ!鉄腕!DASH!」(日本テレビ 2015.6.7)
シーボルト「NIPPON」	医学図書館	「スペシャルサタデー第3部 Qさま!!特別編」(テレビ朝日 2015.5.16)
仙厓「臨済栽松図」	文系合同(文)	「高島礼子・日本の古都～その絶景に歴史あり」(BS-TBS 2015.10.21)
「福岡・博多鳥瞰図」(檜垣文庫)	記録資料館	「豆ごはん。」(RKB毎日放送 2015.7.8)ほか
「福岡城下町・博多・近隣古図」(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	「発見!九州スピリット」大濠公園編①(KBCテレビ 2015.8.8)ほか
「元和5年5月3日福島正則書状」(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	「英雄たちの選択 屈辱に生きるか？誇りある滅びか？～福島正則 広島城改修事件～」(NHKBSプレミアム 2016.3.17)
「The far east」(鹿児島紡績所の古写真)	記録資料館(九州文化史)	鹿児島県企画部世界文化遺産課が企画するプロモーション映像(2016.4.1以降放映予定)

図書館日誌 Diary

	全学・箱崎地区	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	伊都図書館	文系合同図書室
H27 (2015) 4	22 図書系職員初任者研修	21 第1回医学図書館運営委員会（書面回議）				
5	11 第56回附属図書館貴重文物展示「雅俗繚乱―中野三敏 江戸学コレクションの世界―」（～18日） 12 イスラムウィーク 13 第1回農学研究院図書委員会 16 第56回附属図書館貴重文物展示関連講演会「江戸文化辻談義――中野コレクションから見えるもの」	13 第2回医学図書館運営委員会（書面回議） 19 外国雑誌センター館会議 28 第86回日本医学図書館協会総会（～29日）		9 オープンキャンパス「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩－昔も今も学術交流の拠点－」展示 27 第1回筑紫図書館運営委員会		
6	4 中央図書館図書資料選定委員会	17 第3回医学図書館運営委員会（書面回議）				10 第1回文学部図書委員会
7	13 第1回学生用図書選定委員会中央図書館分科会 22 福岡アメリカン・センター講演会「サブジェクトライブライアンへの道程（みち）」 31 学術情報セミナー「Next D」	14 第4回医学図書館運営委員会	15 芸術工学図書館長選挙会 16 第1回芸術工学図書館運営委員会	23 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会	14 アーバンデザイン会議50名来訪 29 第1回伊都図書館運営委員会	22 第1回法学部図書委員会
8	1 オープンキャンパス図書館開放 3 学術講演会「大学図書館の将来」 20 NII目録システム地域講習会（～21日）	3 オープンキャンパス図書館開放 第5回医学図書館運営委員会（書面回議） 17 第6回医学図書館運営委員会（書面回議）	2 オープンキャンパス図書館開放		2 オープンキャンパス図書館開放	1 文系オープンキャンパス向け開室 13 第1回経済学部研究室委員会（書面回議） 18 第2回法学部図書委員会（書面回議） 29 書庫害虫駆除
9	7 九大インターンシップ受入（～18日） 27 九州地区国立大学法人等職員採用事務系（図書業務）二次専門試験	1 第7回医学図書館運営委員会（書面回議）				3 [法学部] 宇賀田順三元教授寄贈書搬入
10	20 Library Lovers'キャンペーン2015(～11月16日)	2 第8回医学図書館運営委員会（書面回議） 13 第9回医学図書館運営委員会（書面回議） 16 第63回九州地区医学図書館協議会総会 30 第10回医学図書館運営委員会（書面回議）		7 第2回筑紫図書館図書資料選定委員会（書面回議）	13 第2回伊都図書館運営委員会（書面回議） 15 第1回伊都図書館学生用図書選定委員会（書面回議） 30 日中学長会議関係者41名来訪	22 旧工学部3号館施設（116号室他）借用開始（～28年3月31日） 26 第1回文系合同図書室運営委員会
11		17 第11回医学図書館運営委員会（書面回議） 26 小企画展示「九州大学附属図書館と狩野文庫―眼科学教室旧蔵本を中心に」（～12月16日） 27 第22回九州地区医学図書館員セミナー	4 第2回芸術工学図書館運営委員会			9 第3回法学部図書委員会 9 第2回経済学部研究室委員会 25 第2回文学部図書委員会 29 高大連携事業「リサーチトライアル in 九大教育学部」
12	8 第2回農学研究院図書委員会（書面回議） 15 学術講演会「図書館における資料選択」	4 第1回日本医学図書館協会地区会事務局連絡会議 7 第12回医学図書館運営委員会（書面回議）			1 広東外語外資大学副学長御一行8名来訪	
H28 (2016) 1	19 「九州大学オープンアクセス方針」決定（教育研究評議会）	14 第13回医学図書館運営委員会（書面回議） 28 第14回医学図書館運営委員会（書面回議）		20 筑紫図書館長候補者選考委員会（書面回議）		
2	3 第3回農学研究院図書委員会（書面回議）				16 第3回伊都図書館運営委員会（書面回議）	5 旧工学部3号館施設（221号室他）借用開始（～29年3月31日） 15 第3回文学部図書委員会（書面回議）
3	1 九大教育学部インターンシップ受入（～3日） 8 職員研修「和装本修復研修」 18 海外出張報告会 23 職員・図書館TA研修「アカデミックライティングを考える」	14 第15回医学図書館運営委員会			8 第4回伊都図書館運営委員会（書面回議） 30 福岡観光コンベンションビューロー（九大TLO関連）40名来訪	16 第2回文系合同図書室運営委員会 25 第4回法学部図書委員会

	記録資料館	教材開発センター	全学会議	関係団体会議等への出席
		27 第 1 回運営委員会	10 第 1 回旧植民地関係資料の整理に係る専門委員会	16・17 第 45 回九州地区国立大学図書館協会総会及び第 66 回九州地区大学図書館協議会総会出席（ニューウェルシティ宮崎）
		18 FD　電子教材著作権講習会（伊都キャンパス）	12 第 1 回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会	8 目録システム地域講習会担当者説明会（国立情報学研究所） 18 国立大学図書館協議会春季理事会・図書系専門試験委員会・人材委員会（東京大学） 19 外国雑誌センター館会議（東京大学） 29 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会（グランデはがくれ）
			4 第 2 回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 17 第 3 回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 29 第 1 回大型図書資料選定委員会	18 国立大学図書館協会総会（ホテルニューオータニ熊本） 19 国立大学図書館協会マネジメント・セミナー（ホテルニューオータニ熊本）
29	第 29 回記録資料館運営委員会	9 FD　電子教材著作権講習会（箱崎キャンパス） 24 講演会「Power Point や Keynote などによるスライドショーをもっと良くする方法」 28 第 2 回運営委員会 31 FD　M2B 学習支援システム講習会（病院キャンパス）	1 第 1 回電子ジャーナル等検討専門委員会 2 館長会議 2 第 217 回附属図書館商議委員会 14 第 1 回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会 29 第 1 回学生用図書選定委員会（書面回議） 29 第 2 回旧植民地関係資料の整理に係る専門委員会 31 第 1 回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会専門部会	
		6 FD　M2B 学習支援システム講習会（伊都キャンパス） 7 FD　M2B 学習支援システム講習会（箱崎キャンパス）	20 第 2 回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会専門部会	
		1 FD　M2B 学習支援システム講習会（箱崎キャンパス） 3 FD　M2B 学習支援システム講習会（伊都キャンパス） 4 FD　M2B 学習支援システム講習会（病院キャンパス） 4 FD　M2B 学習支援システム講習会（大橋キャンパス）	8 第 3 回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会専門部会 14 第 2 回大型図書資料選定委員会 24 第 4 回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会専門部会	
		6 FD　電子教材著作権講習会（病院キャンパス）	6 第 2 回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会	2 第 1 回日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画拠点連携委員会（主婦会館） 30 国立大学図書館協会第 1 回総務委員会（東京大学）
		10 JMOOC 講座「個人と組織のための最先端サイバーセキュリティ入門」開講（～ 12 月 8 日）	24 第 3 回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会	5・6 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議（宮崎大学） 9 国立大学図書館協会秋季理事会（筑波大学） 16 国立七大学附属図書館協議会（北海道大学） 20 九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議
			10 館長会議 10 第 218 回附属図書館商議委員会 14 第 2 回電子ジャーナル等検討専門委員会（書面回議） 15 第 4 回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会（書面回議）	
		12 JMOOC 講座「Global Social Archaeology：expanded edition（グローバル社会考古学：増補版）」開講（～ 2 月 16 日） 30 JMOOC 講座「個人と組織のための最先端サイバーセキュリティ入門」反転授業実施	19 寄贈による古書・文書等評価委員会	
12	第 30 回記録資料館運営委員会	6 JMOOC 講座「Global Social Archaeology：expanded edition（グローバル社会考古学：増補版）」反転授業実施 12 FD　M2B 学習支援システム講習会（筑紫キャンパス） 16 FD　電子教材著作権講習会（伊都キャンパス） 18 FD　M2B 学習支援システム講習会（箱崎キャンパス） 18 FD　M2B 学習支援システム講習会（病院キャンパス） 19 FD　M2B 学習支援システム講習会（伊都キャンパス）		22 第 2 回日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画拠点連携委員会（主婦会館）
		15 第 3 回運営委委員会 22 FD　M2B 学習支援システム講習会（箱崎キャンパス） 22 FD　M2B 学習支援システム講習会（病院キャンパス） 23 FD　M2B 学習支援システム講習会（伊都キャンパス）	11 館長会議 11 第 219 回附属図書館商議委員会	18 国立大学図書館協会総務委員会・ビジョン策定小委員会合同会議（東京大学）

平成28(2016)年6月発行

編集発行　九州大学附属図書館
〒812-8581　福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL(092)642-4264　(図書館企画課企画係)

印　　刷　城島印刷株式会社

https://www.lib.kyushu-u.ac.jp

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY